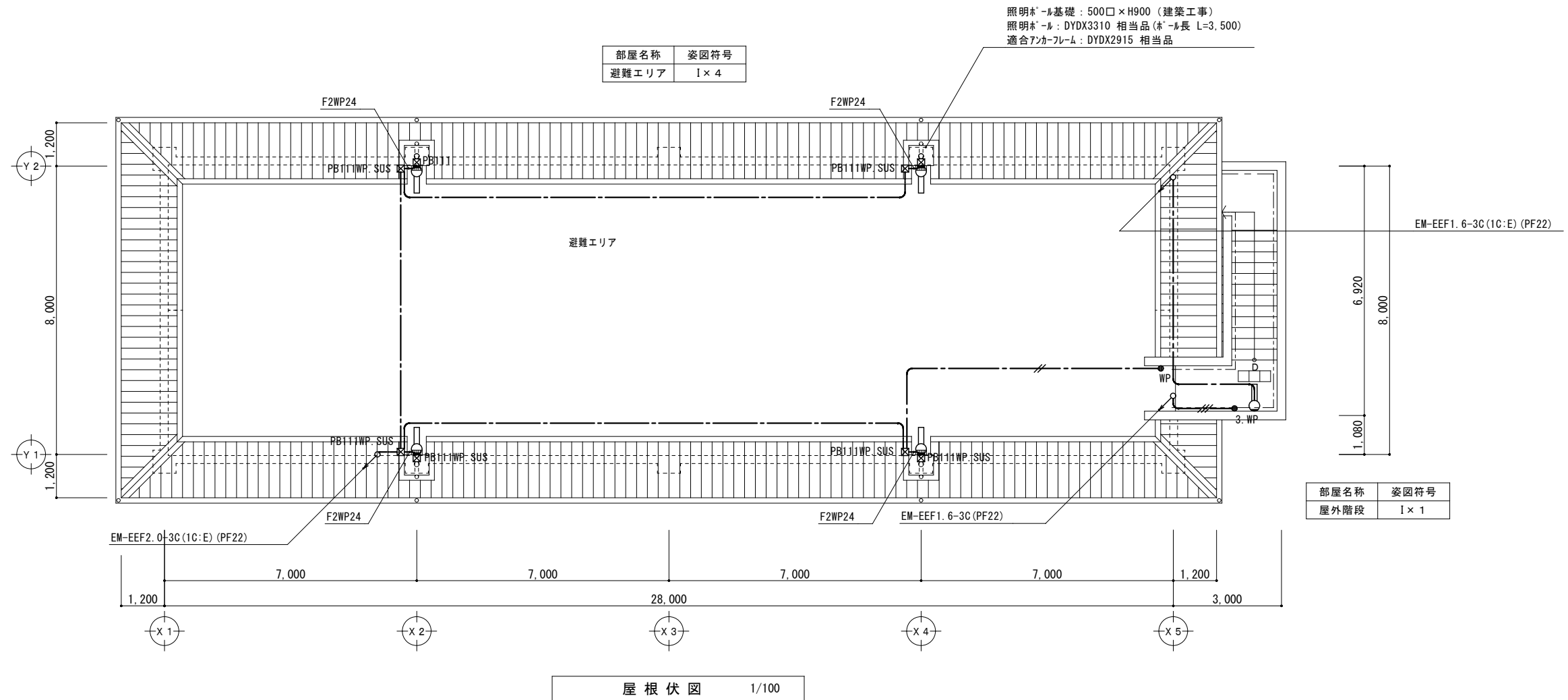




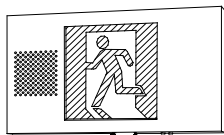


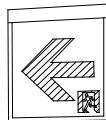


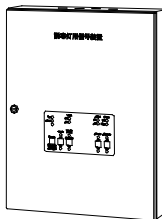

記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	
	電灯分電盤	
	別途制御盤	
●	埋込スイッチ 1P15A×1	
	埋込スイッチ 1P15A×3	
	埋込スイッチ 1P15A×4	
●L	埋込スイッチ 1P15A(L)×1	
●1S	熱線式自動スイッチ用 センサ 操作ユニット (1回路用)	WTA5820WK
●2S	熱線式自動スイッチ用 センサ 操作ユニット (2回路用)	WTA5822WK
	熱線式自動スイッチ用センサ 親機	WTK24818
	熱線式自動スイッチ用センサ 子機	WTK29129
	熱線式自動スイッチ用センサ 子機 換気扇運動型	WTK29318
	熱線式自動スイッチ用センサ 親機 (屋外用)	WTK44819
	熱線式自動スイッチ用センサ 子機 (屋外用)	WTK49129
●3.WP	埋込スイッチ (防雨型) 3W15A×1	
●4.WP	埋込スイッチ (防雨型) 4W15A×1	
●nR	フル2線リモコンスイッチ	n回路用
 PB111NP-SUS	屋外ﾌﾞﾚｯｸｽ 100×100×100 SUS製	
	換気扇-天井付	機械設備
 24h	換気扇-天井付 (24H換気)	機械設備
○24h	24H換気用スイッチ (機械設備より支給品)	機械設備材料支給

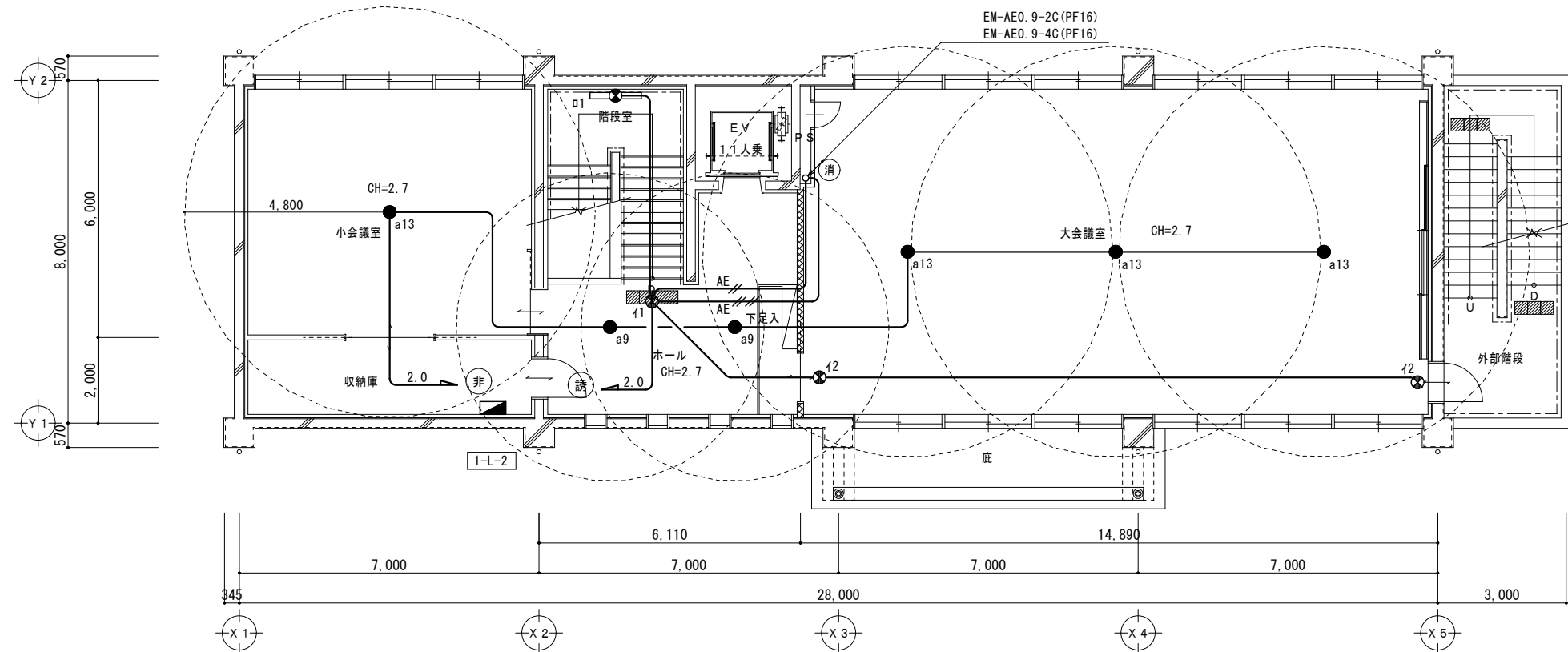
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	
	電灯分電盤	
	別途制御盤	
●	埋込スイッチ 1P15A×1	
	埋込スイッチ 1P15A×3	
	埋込スイッチ 1P15A×4	
●L	埋込スイッチ 1P15A(L)×1	
●1S	熱線式自動スイッチ用 センサ 操作ユニット (1回路用)	WTA5820WK
●2S	熱線式自動スイッチ用 センサ 操作ユニット (2回路用)	WTA5822WK
	熱線式自動スイッチ用センサ 親機	WTK24818
	熱線式自動スイッチ用センサ 子機	WTK29129
 F	熱線式自動スイッチ用センサ 子機 換気扇運動型	WTK29318
 0	熱線式自動スイッチ用センサ 親機 (屋外用)	WTK44819
 0	熱線式自動スイッチ用センサ 子機 (屋外用)	WTK49129
●3.WP	埋込スイッチ (防雨型) 3W15A×1	
●4.WP	埋込スイッチ (防雨型) 4W15A×1	
●nR	フル2線リモコンスイッチ	n回路用
 PB111WP-SUS	屋外ﾌﾞﾛｯｸｽ 100×100×100 SUS製	
	換気扇-天井付	機械設備
 24h	換気扇-天井付 (24H換気)	機械設備
○24h	24H換気用スイッチ (機械設備より支給品)	機械設備材料支給



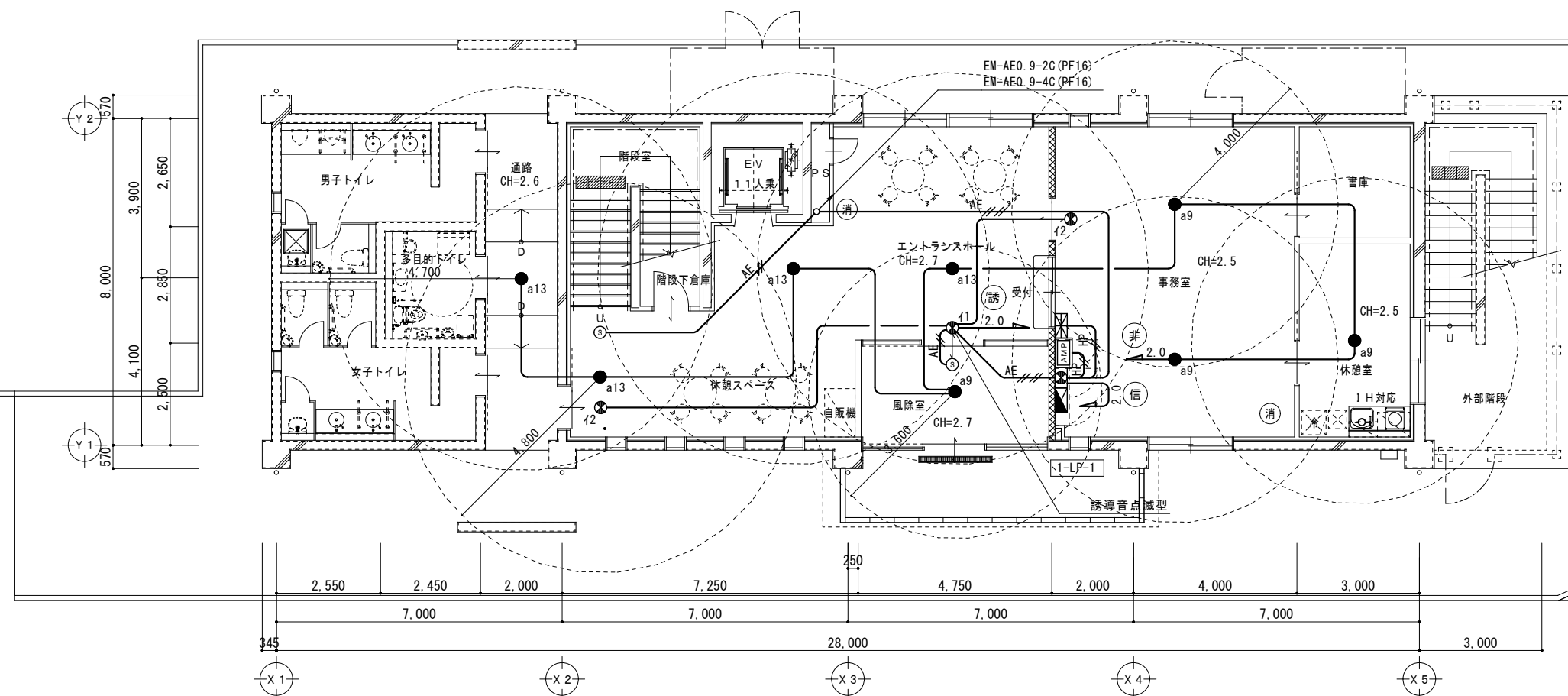
特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）	<div><div><div>MAENO</div><div>株式会社</div></div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 <div><div>水谷浩</div><div>三橋 将輝</div></div>	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
			縮尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 E010 (原図:A2)								

器具参考姿図

a9	L E D非常灯専用型リモコン自己点検機能付	a13	L E D非常灯専用型リモコン自己点検機能付																																																							
<div></div> <div>保守率：0.92 KO143779</div> <table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A 1</td><td>3.8</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>2.8</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A 2</td><td>8.5</td><td>9.4</td><td>9.9</td><td>10.1</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A 4</td><td>6.9</td><td>7.6</td><td>8.1</td><td>8.9</td></tr></table> <div>告示1830号適合品・蓄電池内蔵（ﾊﾞｯﾃﾘｰ） 非常灯評定番号：LALE-004</div> <div>公共型番：K1-LRS11-1 NNFB90605K 相当品</div>		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	A 1	3.8	4.0	4.0	2.8	直線配置	A 2	8.5	9.4	9.9	10.1	四角配置	A 4	6.9	7.6	8.1	8.9	<div></div> <div>保守率：0.92 KO143780</div> <table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A 1</td><td>4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>3.3</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A 2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td><td>12.9</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A 4</td><td>7.4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.6</td><td>11.7</td></tr></table> <div>告示1830号適合品・蓄電池内蔵（ﾊﾞｯﾃﾘｰ） 非常灯評定番号：LALE-004</div> <div>公共型番：K1-LRS11-2 NNFB91605C 相当品</div>		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A 1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	直線配置	A 2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	四角配置	A 4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7					
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m																																																						
単体配置	A 1	3.8	4.0	4.0	2.8																																																					
直線配置	A 2	8.5	9.4	9.9	10.1																																																					
四角配置	A 4	6.9	7.6	8.1	8.9																																																					
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																					
単体配置	A 1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3																																																				
直線配置	A 2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9																																																				
四角配置	A 4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7																																																				
41	L E D誘導灯	42	L E D誘導灯	43	L E D誘導灯	44	L E D通路誘導灯																																																			
<div>LED B級・BL形 誘導音付点滅型避難口誘導灯片面型</div> <div></div> <div>LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付・吊下兼用型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3546</div> <div>公共型番：SH1-FSF20AF-BL FA20337LE1+FK20000 相当品</div>		<div>LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型</div> <div></div> <div>LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM111-3209</div> <div>公共型番：SH1-FSF20-BL FA20312CLE1+FK20000 相当品</div>		<div>LED C級 避難口誘導灯片面型</div> <div></div> <div>LED誘導灯コンパクトスクエア 壁・天井直付・吊下兼用型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AS111-3618</div> <div>公共型番：SH1-FSF20-C FA10312CLE1+FK10300 参考品</div>		<div>LED B級・BL形 通路誘導灯両面型</div> <div></div> <div>LED誘導灯コンパクトスクエア B級・BL形 両面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 型式認定番号：1AM221-3620</div> <div>公共型番：ST1-FSF23-BL FA20322CLE1+FK20316+FK20317 相当品</div>																																																				
01	L E D 一体型階段灯 階段通路誘導灯兼用型		誘導灯信号装置		非常灯専用型リモコン																																																					
<div></div> <div>告示1830号適合品・蓄電池内蔵（ﾊﾞｯﾃﾘｰ） 型式認定番号：3AE-1082 非常灯評定番号：LALE-015</div> <div>3800lm 29.6W</div> <div>ひとセンサ段調光30分、Hf32形器具1灯相当 非常時本体組込LED点灯、非常灯評定番号：LALE-015 本体：鋼板（白色塗装）、レンズ：ガラス 常用光ユニット（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素蓄電池 常用光ユニット：光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 自己点検機能付、リモコン：FSK90910K（別売）</div> <div>公共型番：LDS2-SK1-LBF11 パナソニック NNCF42135LE9 相当品</div>		<div>誘導音＋点滅用（1回路用）</div> <div></div> <div>信号回路定格容量：誘導音信号出力・点滅信号出力（DC24V合計2A） 消費電力：13W（最大負荷接続時167W） 電源電圧：100V 定格周波数：50／60Hz 充電モニタ付 型式認定番号：S11A-21</div> <div>FF90024K 相当品</div>		<div></div> <div>※1台納入する事。</div> <div>パナソニック FSK90910K 相当品</div>																																																						



2 階 平 面 図 1/100

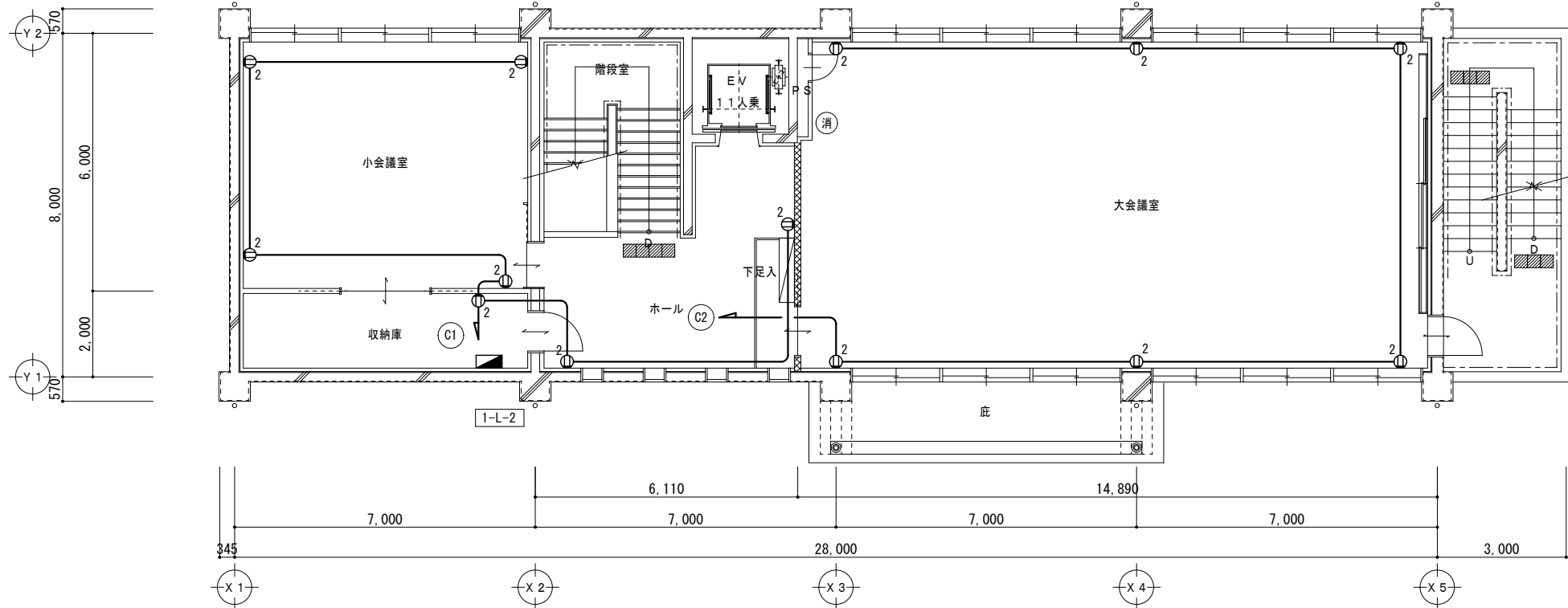


1 階 平 面 図 1/100

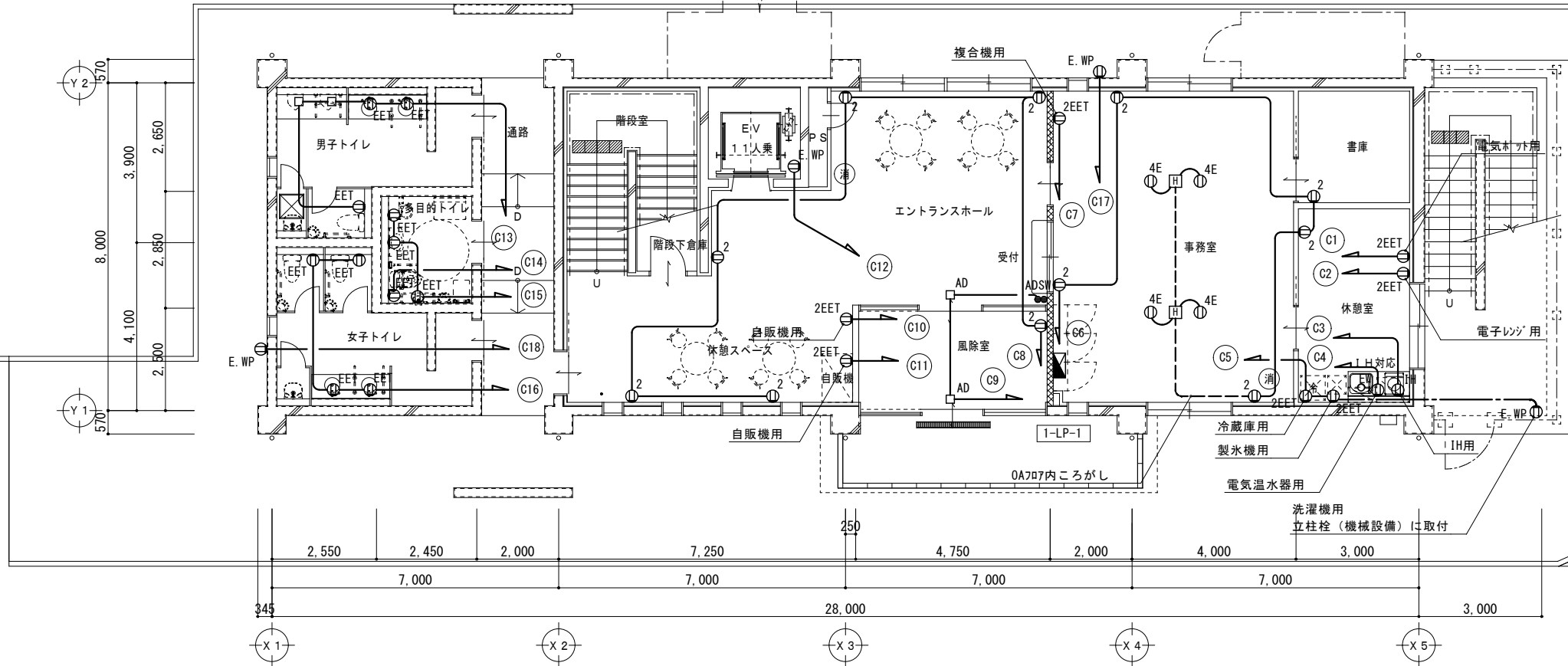
- | 特記なき配線は下記による。 | |
|---------------|--------------------------|
| <u>2.0</u> | EM-EEF2.0-3C(1C:E)(PF22) |
| | EM-EEF1.6-3C(1C:E)(PF22) |
| <u>HP</u> | EM-HP1.2-2C(PF16) |
| <u>AE</u> | EM-AE0.9-2C(PF16) |
| <u>AE</u> | EM-AE0.9-4C(PF16) |

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	
	電灯分電盤	
	LED灯(非常照明用)	
	誘導灯信号装置	
	避難口誘導灯	
	階段通路誘導灯	
	煙感知器 3種	自動試験機能付

- 【注記】
1. 配線は天井裏ころがしとし、PS及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はPＦ管にて保護すること。（立下露出部は金属線びにて保護する）
 2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。



2 階 平 面 図 1/100

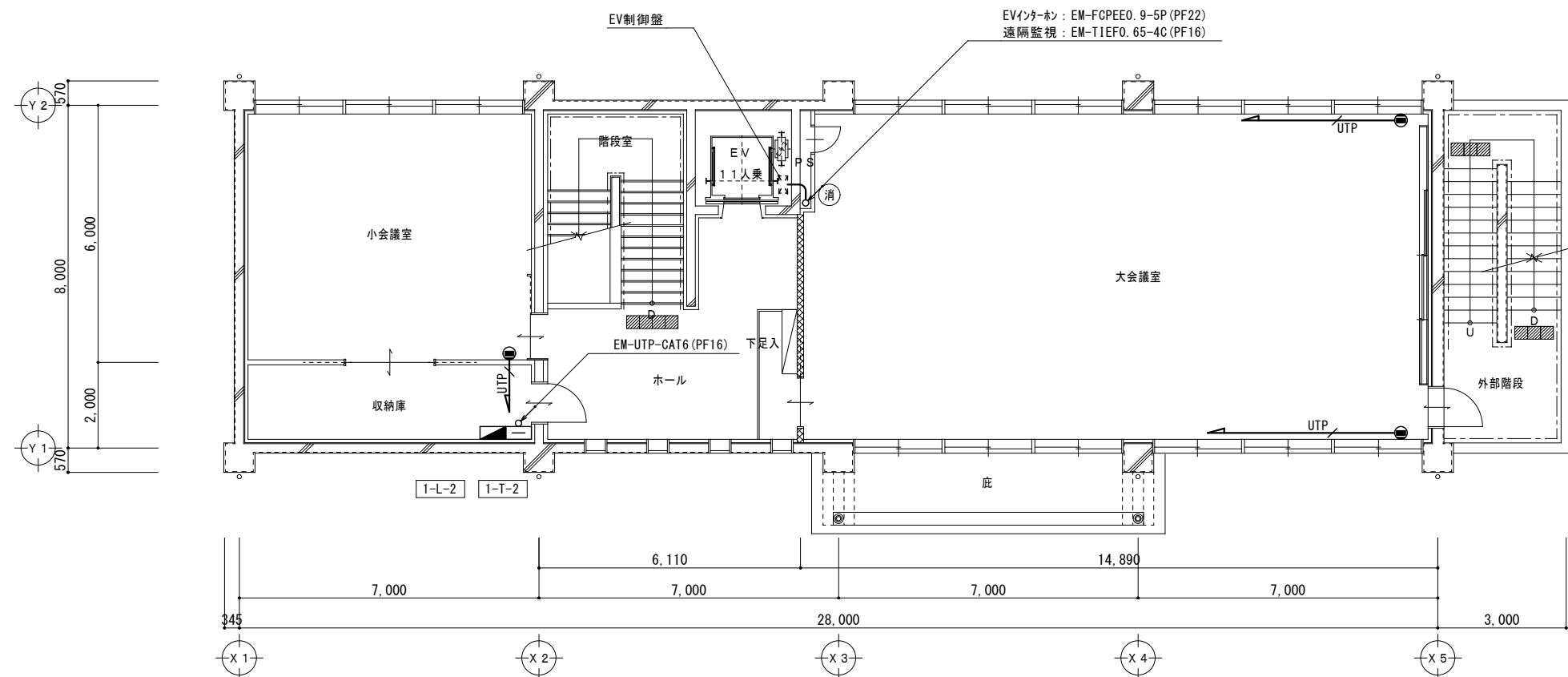


1 階 平 面 図 1/100

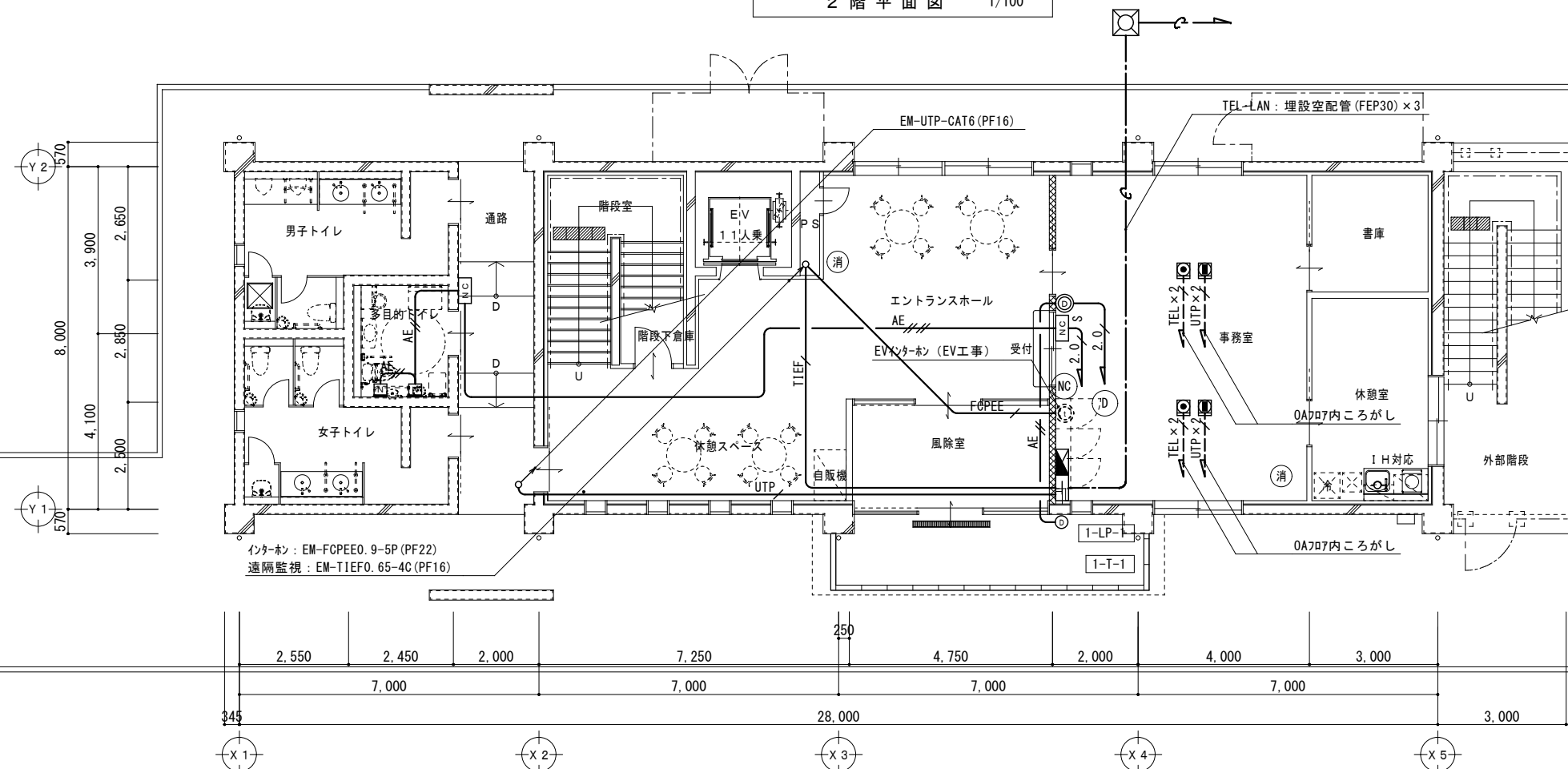
特記なき配線は下記による。		
	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (PF22)	
	EM-EEF2.0-3C(1C:E) (FEP30)	

特記なき記号は下記による。			
記 号	名 称		備 考
	電灯動力壁		
	電灯壁		
① 2	コンセント-壁付	2P15A×2	
① EET	コンセント-壁付	2P15A×1 EET付	
① 2EET	コンセント-壁付	2P15A×2 EET付	
① EW	コンセント-壁付	2P15A×1 ET付	電気温水器用
① IH	コンセント-壁付	2P15A×2 E付100V	IHクッキングヒーター用
① E.WP	防滴コンセント-壁付	2P15A×2 EET付 フル接地防水タイプ	
4E①	ハネス用OAタップ 4ヶ口抜止接地付3m		
①	ハネス用ポイントボックス 2分岐送り付		
● ADSW	オート7用スイッチ		










【注記】
1. 配線は天井裏ころがしとし、P・S及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はP・F管にて保護すること。（立下露出部は金属線びにて保護する）
2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。



2 階 平 面 図 1/100



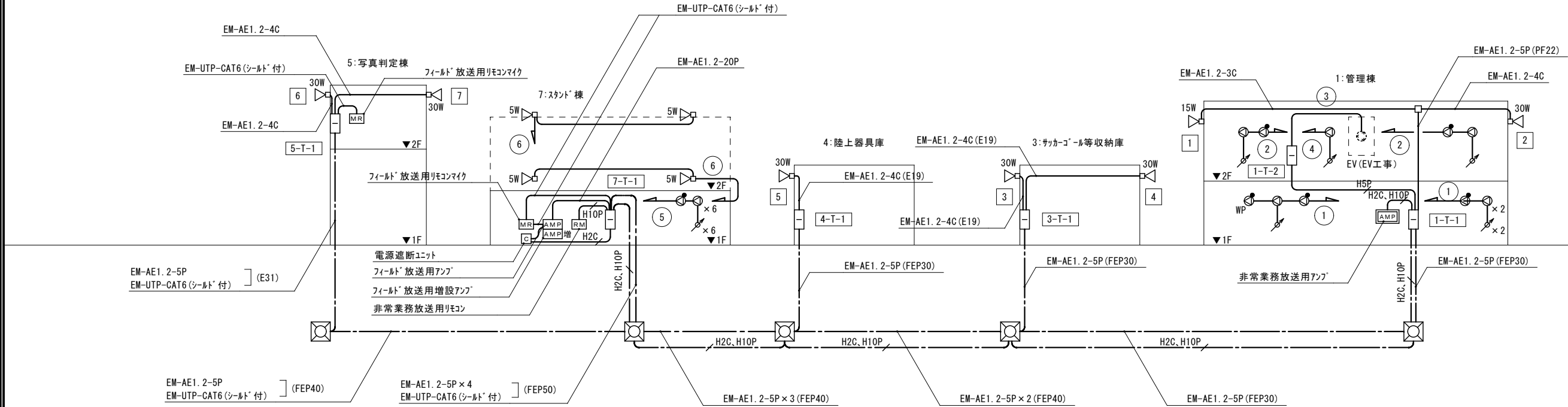
1 階 平 面 図 1/100

特記なき配線は下記による。		
	2・0	
	UTP	EM-EEF2. 0-3C(1G:E) (PF22)
	TEL	EM-UTPCAT6 (PF16) LAN
		空配管 (PF22) TEL
	AE	EM-AE1. 2-2C (PF16) トル呼出・ト`7ホ
	AE	EM-AE1. 2-4C (PF16) トル呼出
	FCPEE	EM-FCPEE0. 9-5P (PF16) EVインターホン
	TIEF	EM-TIEF0. 65-4C (PF16) EV遠隔監視
		(FEP30)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	
	分電盤	
	端子盤	
	別途制御盤	
	情報用アクトレット壁付	
	情報用アクトレット二重床用	
	電話用アクトレット二重床用	
	ナースコール受信盤-親機	
	ナースコール受信盤-副親機	
	ナースコール押しボタン壁付	
	ドアホン-親機	
	ドアホン	
	ハンド・ホール HH : R8K-60 900×900×900	土木工事

【注記】

1. 配線は天井裏ころがしとし、P・S及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はP・F管にて保護すること。（立下露出部は金属線びにて保護する）
2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。



拡声設備 系統図 ※HH間の配管は土木工事

特記なき配線は下記による。	
	EM-HP1. 2-3C (PF16)
	EM-HP1. 2-2C (カトリレ用)
	EM-HP1. 2-5P (PF22)
	EM-HP1. 2-10P (PF28)
	EM-HP1. 2-10P (FEP30)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	端子盤	
	非常業務放送用アンプ	非常業務放送
	非常業務放送用リモコン	非常業務放送
	スピーカー	非常業務放送
	スピーカーアッテネータ付	非常業務放送
	スピーカーアッテネータ付・防滴形	非常業務放送
	スピーカーホーン形	非常業務放送
	アッテネータ	非常業務放送
	電源遮断ユニット	非常業務放送
	フィールド放送用アンプ：240W	フィールド放送
	フィールド放送用増設アンプ：120W	フィールド放送
	フィールド放送用リモコンマイク	フィールド放送
	スリムスピーカー	フィールド放送
	スピーカーホーン形	フィールド放送
	マンホール又はハンドホール	

- 【注記】
- 施工は現状を十分調査の上、配管配線及び機器の撤去を行うこと。
 - 配線は天井裏ころがしとし、PS及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はPF管にて保護すること。
(立下露出部は金属線びにて保護する)
 - 既設配線との接続はジョイントボックスを設けること。
 - コア抜配線箇所は壁とし、スリーブ開口はφ100未満
(間隔は4D以上確保)とし、鉄筋探索の上施工すること。
(コア抜は弱電含め最小限にとどめる)
 - 非常放送アンプは、専用電源とする。
 - 自動火災報知設備と連動させる。
 - 鳴動方式は一斉鳴動とする。
 - タイムアップは3分とする。
 - 管理棟とスタンド様のメッセージ内容を別とする。
「管理棟1階で・・・」「スタンド様で・・・」
 - フィールド放送用スピーカーは、フィールド放送用アンプで各回線ごとの音量調節を行う。
 - 放送設備を非常警報以外の目的と共用する場合は、非常時に自動的に非常警報以外の放送を停止できるようにする。
 - タイムアップは3分以内とする。
※現場確認者と防災むか等の監視者が確保され、現場確認者等から内線電話等により、
現場確認の通報が当該防災むか等に伝達される体制が整っている場合は5分以内。
 - 非常放送設備のAMP及びスピーカーは、消防認定品とする。

【非常業務放送系統図】

No.	系統番号	棟	系統名称	
			階	名称 (放送エリア)
1	①	管理棟	1	1階
2	②	管理棟	2	2階
3	③	管理棟	1～2	EV
4	④	管理棟	1～2	階段
5	⑤	スタンド棟	1	1階
6	⑥	スタンド棟	2	2階 (スタンド)
7				予備
8				予備
9				予備
10				予備

系統番号					合計
①	3	2	1		
②	2	2			
③	1				
④	1				
⑤	6	1			
⑥				4	
計	13	5	1	20	39W
よって39W以上の90Wのアンプを設置する。					

【フィールド放送系統図】

No.	系統番号	棟	名称 (放送エリア)
1	1	管理棟	フィールド
2	2	管理棟	練習路
3	3	サッカーコート棟収納庫	フィールド
4	4	サッカーコート棟収納庫	フィールド
5	5	陸上器具庫	フィールド
6	6	写真判定棟	フィールド
7	7	写真判定棟	フィールド
8			予備
9			予備
10			予備
14			
15			

系統番号					合計
1	1				
2		1			
3		1			
4		1			
5		1			
6		1			
7		1			
計	15	180			195W
よって195W以上の (240W+120W) のアンプを設置する。					

参考機器姿図

非常業務放送設備

ブロック図

【管理棟】1階 事務室

緊急優先一斉
一斉
1
5
1
10

ブロック
回線選択

90W
10回線＋一斉

SP 1
SP 10

スピーカー回線出力

RB 非常制御

プログラム
タイマー

AC100V

壁掛型非常業務放送用アンプ

450
380
164.5

常用電源	AC100 V 50/60 Hz
非常電源	DC24 V 密閉型ニカド電池実装
定格出力	90 W
非常系統数	10 系統
入出力	音声入力×7、制御入力×27、制御出力×13
回線短絡保護	ヒューズレス方式
周波数特性	ライン：50 Hz～15 kHz
非常警報音	音声警報、4ヶ国語「日本語＋英語＋中国語＋韓国語」に対応可
	中国語、韓国語対応には所轄消防署との協議必要
緊急放送	スイッチ×4（内蔵音源再生）
チャイム	上り4音、下り4音、2音、ゴングの4種類
仕上	ケース：鋼板 ライトアイボリー
その他	緊急地震放送法制化対応、一斉移行タイマー内蔵、自然空冷デジタルパワーアンプ採用、放送選択スイッチの設定の任意登録、セルフチェック機能、音声過入力リミット機能、出火警メッセージ：81種類（ソフトウェアで組合せ可）

参考品番：TOA FS10-910 相当品

壁掛型非常業務放送用リモコン

450
380
104.5

電源	DC24 V
出力制御	10局＋10グループ（アサイン可能）、通常一斉、緊急一斉
液晶表示	16文字×2行 バックライト付
音声入力	マイク／ライン・ライン 各1
モニタースピーカー	内蔵、音量調節可能、ハウリング防止回路付
その他	フロントマイク（非常業務兼用）、音量調節可能

参考品番：TOA FS-1010RM 相当品

天井埋込型スピーカー（ATT無）

天井埋込型スピーカー（ATT付）

174
243
73

スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	93 dB/W（1 m）
周波数特性	80 Hz～14 kHz
入カインピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル	アルミバネチング
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）

型式：SC6Hi-1V0-M、SC6Hi-1V3-M

防滴天井露出型スピーカー ATT付

174
243
73

定格入力	3 W（3.3 kΩ）、2 W（5 kΩ）、1 W（10 kΩ）
出力音圧レベル	94 dB（1 W、1 m）
周波数特性	160 Hz～16 kHz
スピーカー	防滴12 cmコーン型
仕上	ケース：樹脂 ライトグレー
音量調節器	5段切換
その他	防水性能：IPX4（天井（水平部）施工時）

参考品番：TOA PC-2238TWP 相当品

ホーンスピーカー

アッテネータ

172
126
188

定格入力	5 W（2 kΩ）、3 W（3.3 kΩ）、1 W（10 kΩ）
出力音圧レベル	106 dB（1 W、1 m）
周波数特性	400 Hz～10 kHz
その他	防塵・防水性能：IP65 ホーン色：オフホワイト

型式：SH-05

アッテネータ

70
120
31.8

入力容量	6 W（0.5 W～6 W適合）
入カインピーダンス	1.7 kΩ～20 kΩ
音量調節	5段階（OFF、-18、-12、-6、0 dB）

型式：V-1S

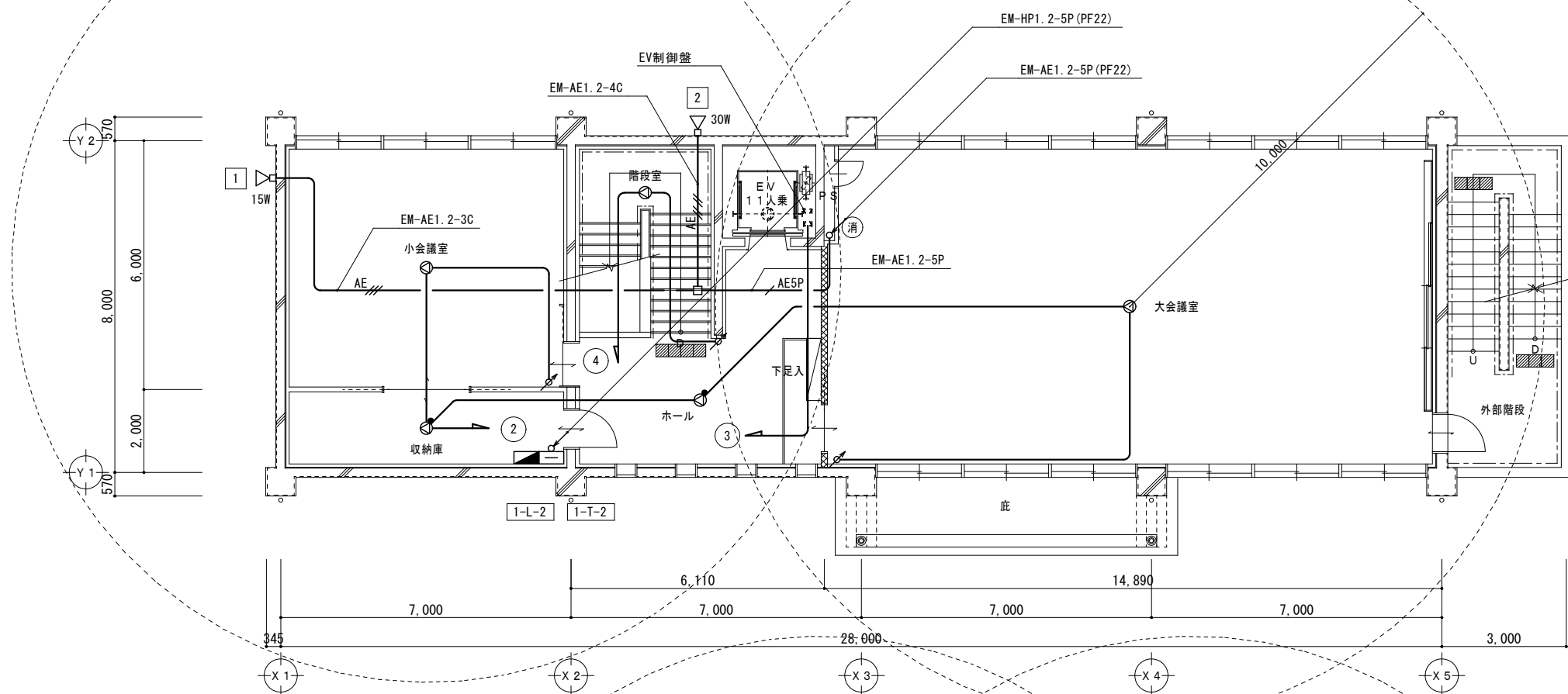
電源遮断ユニット

70
120
40.5

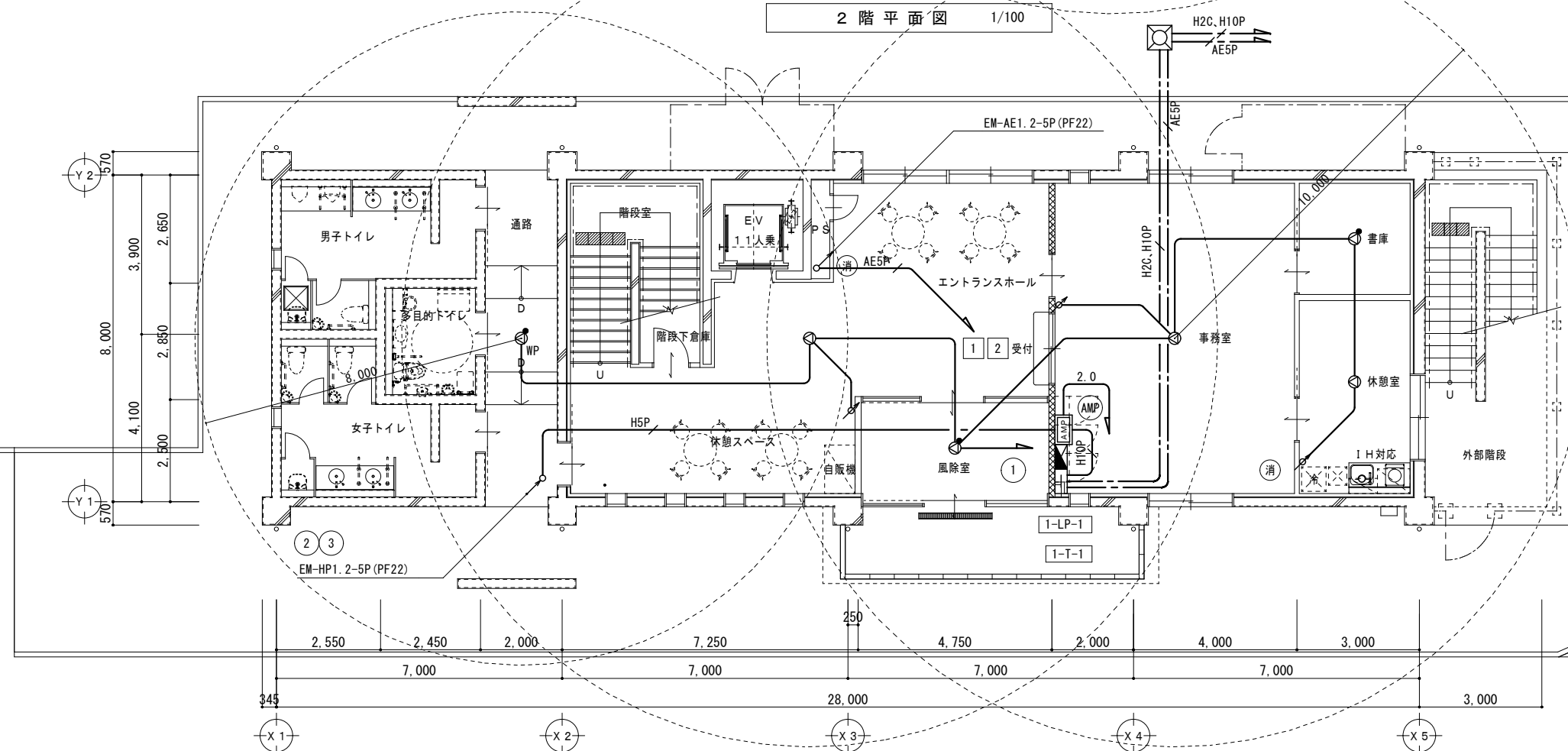
コンセント	AC100 V、50/60 Hz
電力容量	最大800 W
電流容量	最大10 A（ACアウトレット1個）
制御電源	DC24 V、10 mA（非常制御信号RB）
制御方法	RB端子0 Vで商用電源出力をOFF
表示灯（LED）	1（通常時：緑色点灯、非常時：消灯）
プレート	付

参考機器姿図

<div><div><div></div><div>30W</div></div></div> <div>スリムスピーカー</div> <div>30W</div>	<div><div><div></div><div>15W</div></div></div> <div>ホーンスピーカー</div>	<div><div><div>AMP</div></div></div> <div>システムマネージメントアンプ</div>	<div><div><div>AMP</div><div>増</div></div></div> <div>システムマネージメント増設アンプ</div>																					
<div><div><div>■仕様</div><table><tr><td>定格入力</td><td>30W</td></tr><tr><td>定格インピーダンス</td><td>330Ω(30W), 500Ω(20W), 1kΩ(10W)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>114dB(1W, 1m換算値)(JIS C 5504)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>390Hz~12kHz(JIS C 5504)</td></tr><tr><td>指向角</td><td>水平:約90°(2kHz), 垂直:約20°(2kHz)</td></tr><tr><td>使用スピーカー</td><td>ホーンスピーカー×4</td></tr><tr><td>使用温度範囲</td><td>-20℃~+55℃</td></tr><tr><td>保護等級</td><td>IPX5</td></tr><tr><td>その他</td><td>JIS C 5504(ホーンスピーカー)に準じる</td></tr><tr><td>仕上</td><td>ケース:アルミ ライトグレー(マンセルN7, 0近似色) 粉体塗装 前面ネット:アルミ エキスパンドメタル 黒(マンセルN1, 0近似色) 塗装 取付ボルト類:ステンレス</td></tr><tr><td>寸法</td><td>167(W)×665(H)×140.5(D)mm(突起部を除く)</td></tr><tr><td>質量</td><td>8kg</td></tr></table><div>※スピーカー面は垂直または下向きに取り付けてください。 ※安全のため十分な落下防止対策を施し、必ず定期的に保守点検を実施してください。</div><div><div>■外観図</div><div><div><div><div><div><div></div><div>側面図</div></div><div><div>側面図</div><div>正面図</div><div>背面図</div></div></div><div><div><div>上面図</div><div>結線図</div><div>スピーカー取付例</div></div></div></div><div><div>（※1） スピーカーケーブル （φ6.3mm 2m 先バラ AWG20相当）</div><div>（※2） スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div><div>（※3） スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div></div><div>（※1）配線時のご注意 使用しない線は、切断またはそれぞれの線を確実に絶縁処理してください。ショートすると故障の原因になります。</div><div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div><div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div></div><div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div><div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div><div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div></div><div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div><div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div><div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div></div><div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div><div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div><div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div></div><div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div><div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div><div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div></div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※3）ポール設置時には別売の専用金具が必要です。 専用金具については、弊社営業所までお問合せください。</div> <div>（※1）スピーカーケーブルは、強風により揺れて断線する恐れがあります。 金具に固定する等できるだけ短い配線で施工してください。</div> <div>（※2）ポール設置時には別売の専用金具が必要です</div>	定格入力	30W	定格インピーダンス	330Ω(30W), 500Ω(20W), 1kΩ(10W)	出力音圧レベル	114dB(1W, 1m換算値)(JIS C 5504)	周波数特性	390Hz~12kHz(JIS C 5504)	指向角	水平:約90°(2kHz), 垂直:約20°(2kHz)	使用スピーカー	ホーンスピーカー×4	使用温度範囲	-20℃~+55℃	保護等級	IPX5	その他	JIS C 5504(ホーンスピーカー)に準じる	仕上	ケース:アルミ ライトグレー(マンセルN7, 0近似色) 粉体塗装 前面ネット:アルミ エキスパンドメタル 黒(マンセルN1, 0近似色) 塗装 取付ボルト類:ステンレス	寸法	167(W)×665(H)×140.5(D)mm(突起部を除く)	質量	8kg
定格入力	30W																							
定格インピーダンス	330Ω(30W), 500Ω(20W), 1kΩ(10W)																							
出力音圧レベル	114dB(1W, 1m換算値)(JIS C 5504)																							
周波数特性	390Hz~12kHz(JIS C 5504)																							
指向角	水平:約90°(2kHz), 垂直:約20°(2kHz)																							
使用スピーカー	ホーンスピーカー×4																							
使用温度範囲	-20℃~+55℃																							
保護等級	IPX5																							
その他	JIS C 5504(ホーンスピーカー)に準じる																							
仕上	ケース:アルミ ライトグレー(マンセルN7, 0近似色) 粉体塗装 前面ネット:アルミ エキスパンドメタル 黒(マンセルN1, 0近似色) 塗装 取付ボルト類:ステンレス																							
寸法	167(W)×665(H)×140.5(D)mm(突起部を除く)																							
質量	8kg																							























2 階 平 面 図 1/100

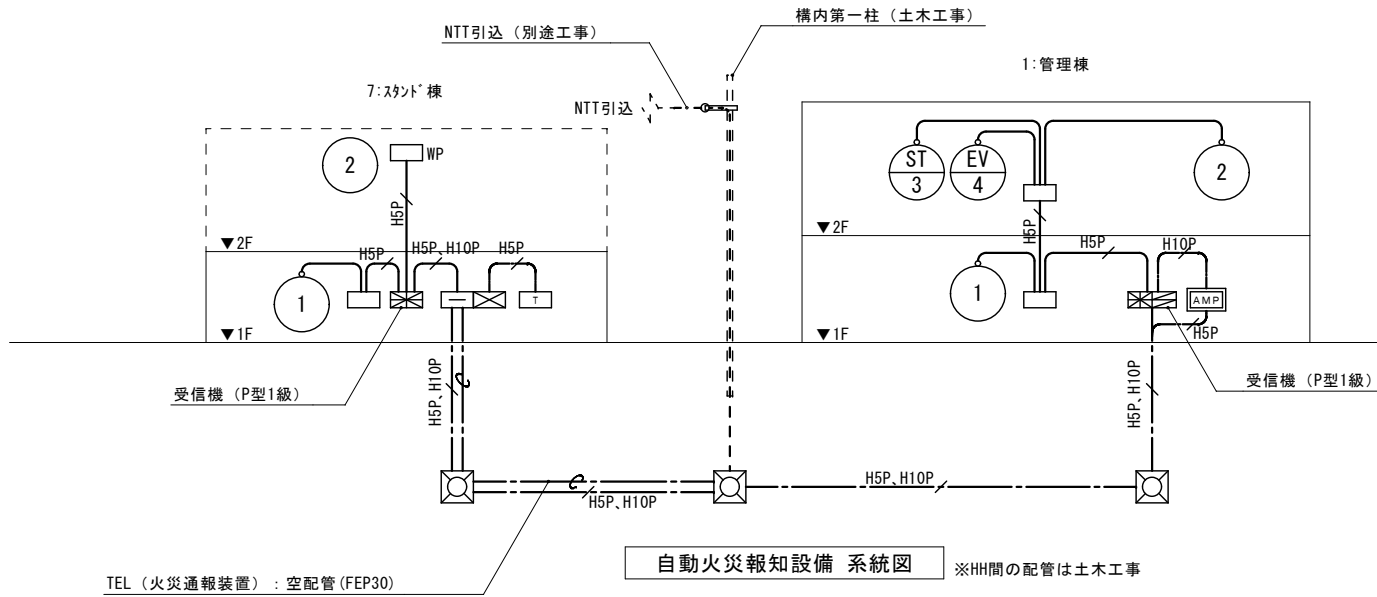







1 階 平 面 図 1/100

- 【注記】
1. 配線は天井裏ころがしとし、P S 及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分は P F 管にて保護すること。（立下露出部は金属線びにて保護する）
 2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。


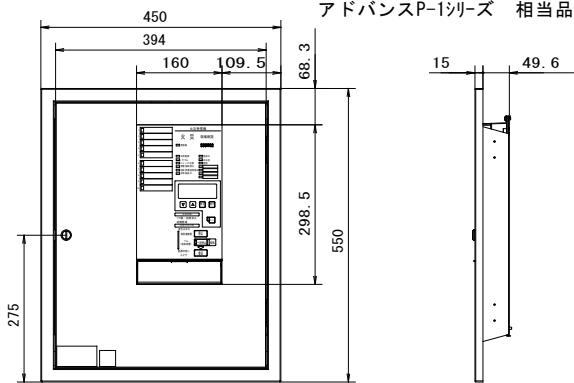

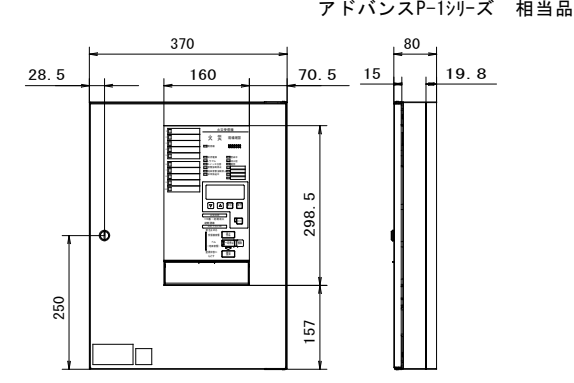
特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	棟図	工事名称	設計日
							 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	 縮 尺 A2: 1/100 A3: 1/141	海浜公園内陸上競技場改修工事	E019 (原図:A2)	
													断面図	【①管理棟】拡声設備 1階平面図、2階平面図			

凡 例				
記 号	名 称	備 考		
	受信機	P型1級 自動試験機能付	機器仕様参照	総合盤内組込
	受信機	P型1級 自動試験機能付	機器仕様参照	露出壁付
	リング型表示灯付発信機	P型1級（管理棟）、P型1級（スタンド棟） アドレス付 AC・DC24V LED式		
	総合盤	 収容		露出壁付
	総合盤（屋外用）	 収容		露出壁付（屋外用）
	光電式スポット型感知器	2種	自動試験機能付	
	光電式スポット型感知器	2種 点検ボックス付	自動試験機能付	
	差動式スポット型感知器	2種	自動試験機能付	
	差動式スポット型感知器	2種 防水	自動試験機能付	
	定温式スポット型感知器	1種 70℃ 防水型	自動試験機能付	
	終端抵抗			
	自火報警戒区域番号	平面区画		
	自火報警戒区域番号	階段		
	自火報警戒区域番号	エレベータ		
	火災通報装置	アナログ回線用		露出壁付
	火災通報専用電話機			
	コア抜			

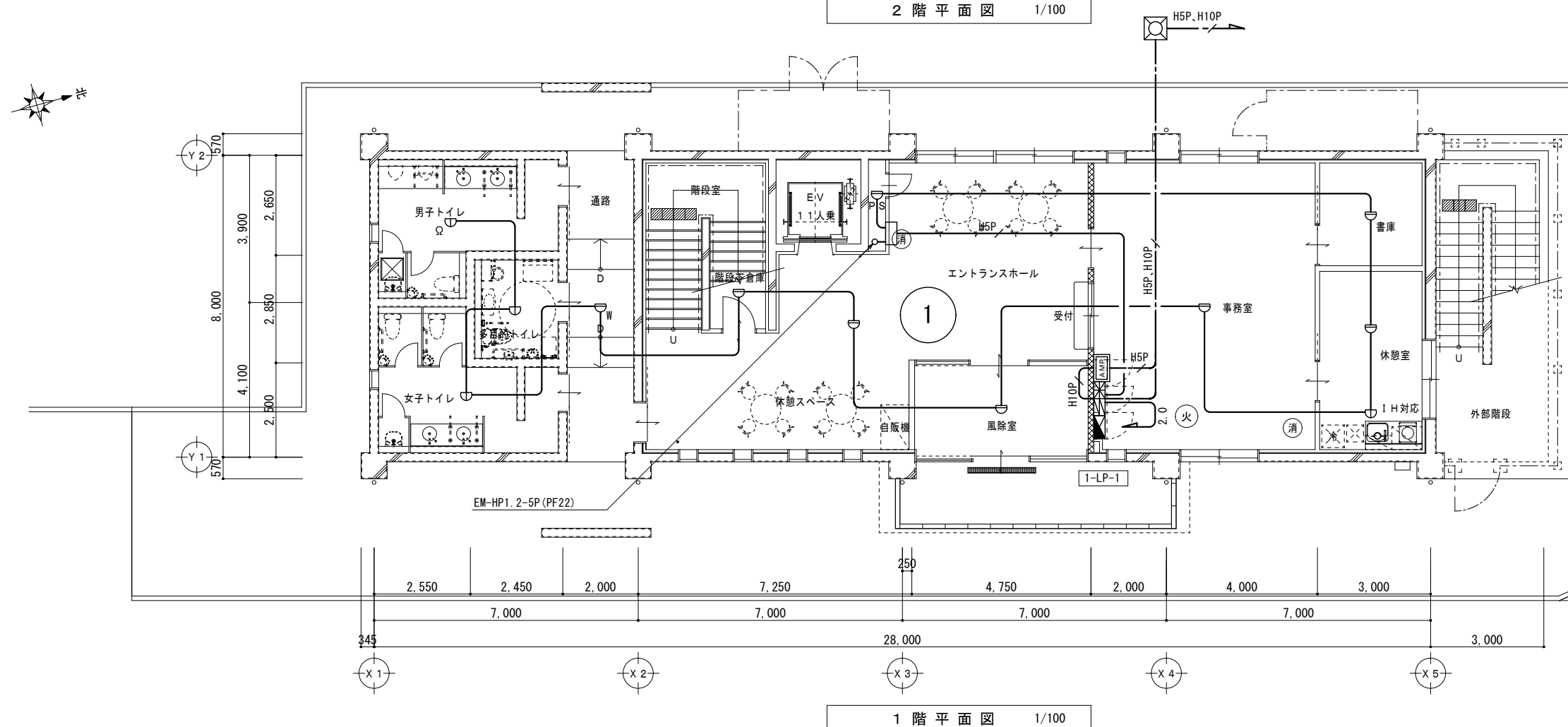
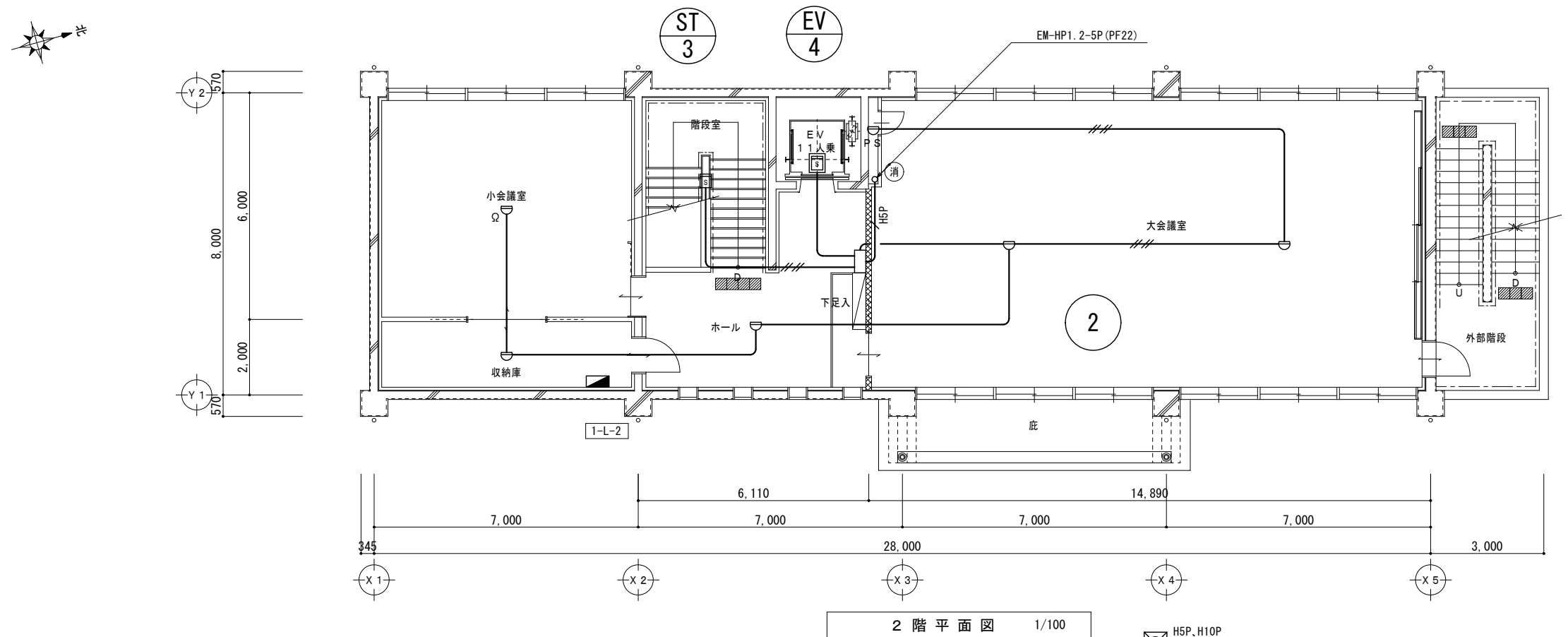


(注記事項)	
1. 記入なき配管配線は、下記とする。	
 2.0	EM-EEF2.0-3C(10:E) (PF22)
	EM-AE0.9-2C (PF16)
	EM-AE0.9-4C (PF16)
	EM-HP1.2-5P (PF22)
	EM-HP1.2-10P (FEP30)
※二重天井内はコログン配線とする。	
配管保護の必要な場合、P F 管にて保護とする。	
2. 界壁貫通部分には貫通処理を施すこと（平面図参照）	
3. (註):電灯盤の主幹ブレーカ1次側より専用回路にて電源供給（専用電源）とする。	
4. 火報受信機仕様	
1) P型1級、壁掛型、窓式、主音響（音声警報）内蔵、蓄積式 予備電源内蔵、自動断線警報機能付、非常放送連動型	
2) 表示内訳	
・火災表示 10L（P型1級）	
3) 諸表示部（5L標準装備）	
4) 移報信号出力	
・エレベータ制御盤、非常放送アンプ、誘導信号装置	
5. 感知器の設置位置は、空気吹出口から1.5m以上離すこと。	
6. 鳴動方式は一斉鳴動とする。	
7. 非常放送設備と連動する。	
8. 鳴動方式はスリカ鳴動とする。	

機器仕様	
P型1級受信機 自動試験機能付（小型）	
ア)電 源	常用電源 AC100V 50/60Hz 予備電源 DC24V Nicd蓄電池（1時間監視、10分間作動）
イ)表 示	P型1級：窓式 10回線（管理棟） P型1級：窓式 10回線（スタンド棟） 自火報回線 10回線（予備5回線） 自火報回線 10回線（予備7回線） ・自火報 5回線 ・自火報 3回線
ウ)機 能	・発報階音声鳴動対応 ※区分：フロア、階段、エレベータ（増設スピーカ接続可） ・警報代表出力 4点（警報種別マルチ設定機能対応） ・フリースイッチ 4点（起動／移報停止） ・液晶表示機能付 自動試験機能付感知器のアドレス表示／部屋番号表示 ・操作ガイダンス機能付（液晶表示ガイド・音声ガイド） ・履歴管理機能（履歴情報の確認・取り出し等が可能） イベント履歴：10,000件 自動試験結果履歴：13,000件 ・自動試験機能付感知器は1回線当り最大63個接続可能 (アドレスブースタ使用時)
【火災通報装置関連】火災通報装置（本体）＋電話機	
1. NTT固定電話のIP網移行に支障がないように施工する。 2. 電話回線は火災通報装置専用とする。※一般回線と兼用する場合は、火災通報装置の機能に支障を生じさせない措置を講じる。 3. メッセージ内容は次のとおりとする。 ・住所は津市から ・建物名称は2回繰り返し ・電話番号は建物の代表電話番号 ・電話番号は059から 4. 専用電源とする	

	P型1級受信機10回線埋込型（自動試験機能付）（管理棟）
	
	P型1級受信機10回線露出型（自動試験機能付）（スタンド棟）
	

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			<div><div></div><div>株式会社 前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 <div></div>	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事			設計日					
	図面名称 自動火災報知設備 系統図・凡例・注記																			
	縮 尺 A2: NS A3: NS																			
											図面番号 E020 (原図: A2)									



- 【注記】
1. 配線は天井裏ころがしとし、PS及び軽量鉄骨壁下地の立下げ部分はPＦ管にて保護すること。（立下露出部は金属線びにて保護する）
 2. 配線の接続はジョイントボックスを設けること。

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			<div><div><div>MAHO</div></div><div>株式 会社</div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 <div>水戸</div>	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日	
											校図 <div>三橋</div>	図面名称 【①管理棟】自動火災報知設備設備 1階平面図、2階平面図	縮 尺 A2: 1/100 A3: 1/141	図面番号 E021 (原図:A2)

盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧 (V)		開閉器					リモコン リレー	容量 (VA)		備考
		100	200	MCCB	ELCB	1P	2P	AF/AT		照明	コンセント	
4-L-1 1φ3W 105/210V MCCB 3P 50/30A												
	L1	○			○		○	50/20		435		陸上器具庫照明
	C1	○			○		○	50/20			450	陸上器具庫コンセント
				○			○	50/20			1,000	予備
				○			○	50/20			1,000	予備
										計	435	2,450
										合計	2.9	kva
◎ ED ◎ ED (ELCB)	特記事項											

4-T-1

拡声

10P

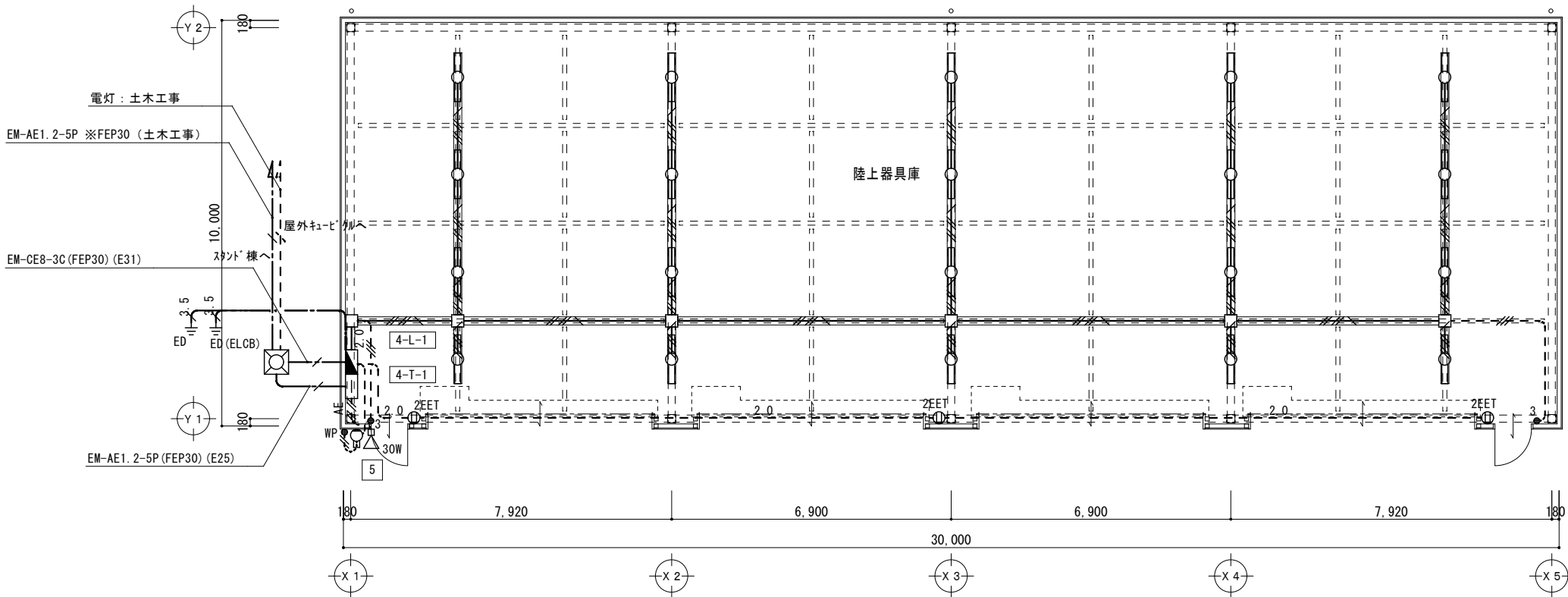
【分電盤仕様】

・4-L-1：屋内壁掛型

・4-T-1：屋内壁掛型

特記なき記号は下記による。		
記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
□	端子盤	
●	埋込スイッチ	1P15A×1
●WP	埋込スイッチ（防雨型）	1P15A×1
①2EET	コンセント-壁付	2P15A×2 EET
≡ED	接地極（D種）接地極埋設標共	
≡ED (ELCB)	接地極（D種・ELCB）接地極埋設標共	
□	ハットホルダー HH： R8K-60 600×600×600	



特記なき配線は下記による。	
- - 2.0 - -	EM-IE2.0×3(1C:E)
- - // - -	EM-IE1.6×2(E19)
- - /// - -	EM-IE1.6×3(E19)
- - - - -	EM-IE1.6×3(1C:E)(E19)
—————	EM-IE1.6×3(1C:E)
—————	EM-IE1.6×5(1C:E)
- - /// AE	EM-AE1.2-4C(E19)

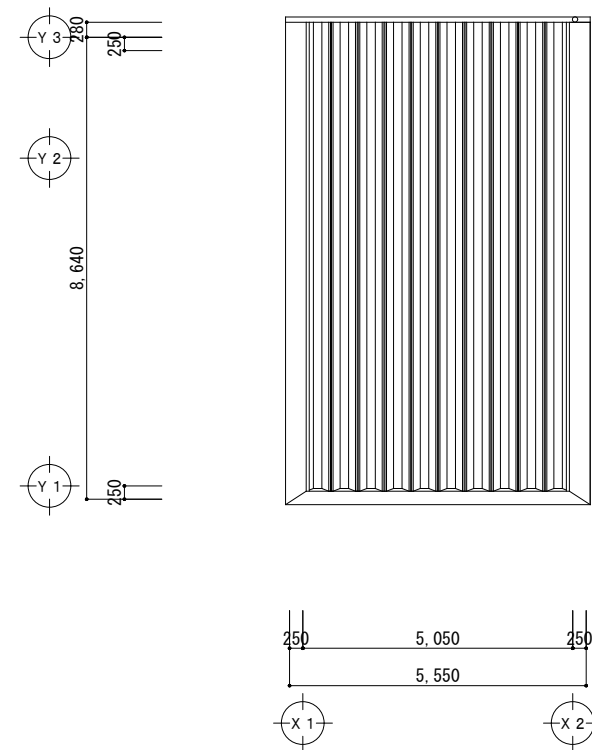
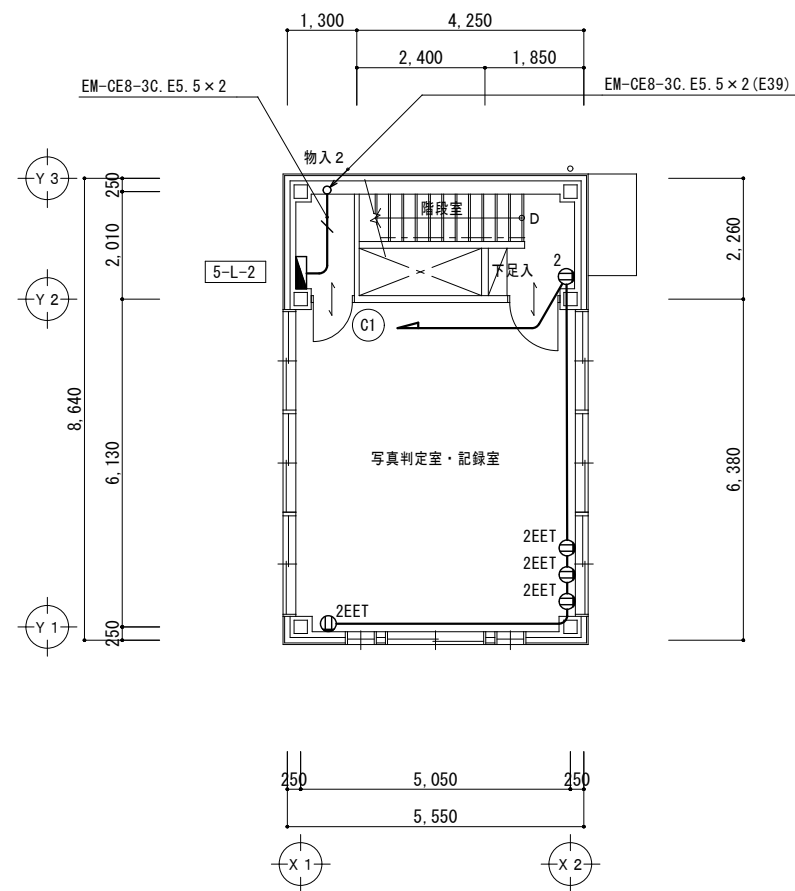
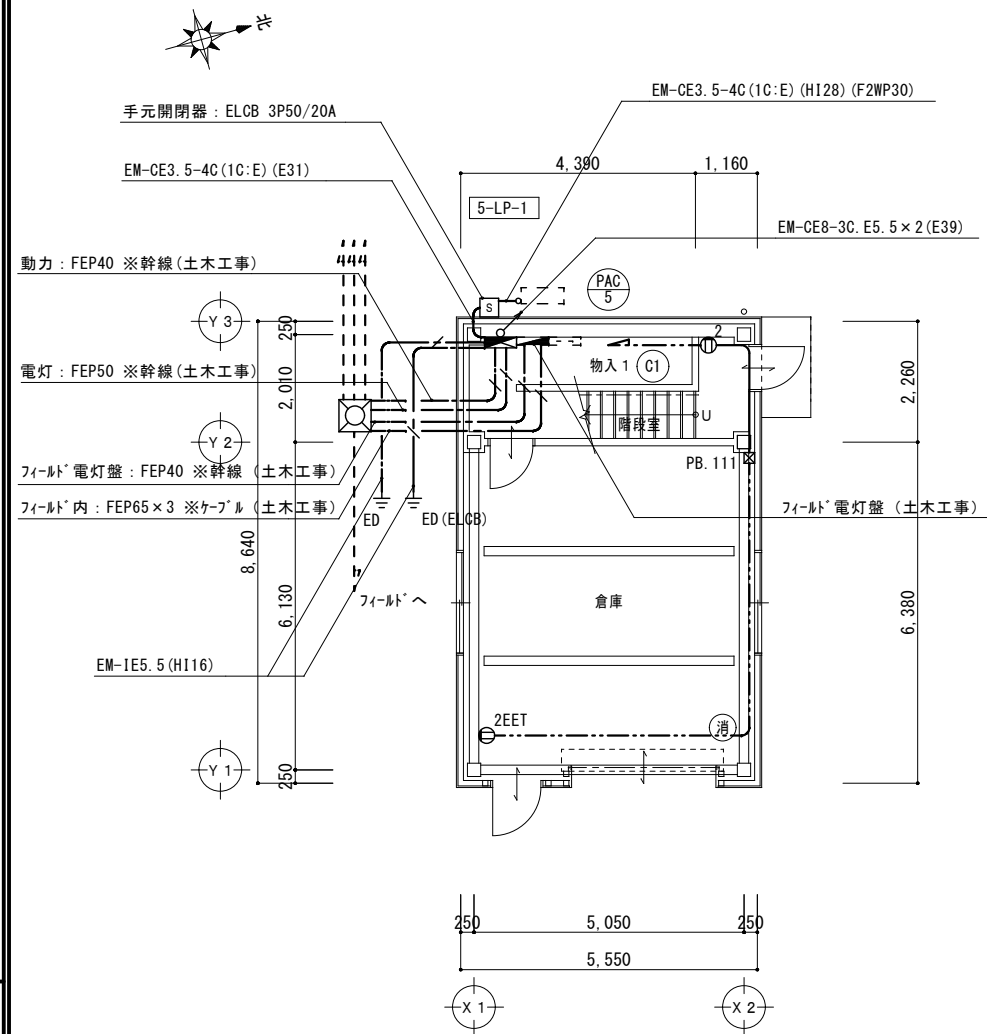


部屋名称	姿図符号
陸上器具庫	H×1 J×20

平面図

1/100

特記事項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）					<div><div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div>株式会社 前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
							一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作		<div><div></div><div>水間</div></div>	海浜公園内陸上競技場改修工事		
												縮尺	図面番号		
												A2: 1/100 A3: 1/141	E023 (原図:A2)		



特記なき配線は下記による。	
---	EM-IE2.0×3(1C:E)(E19)
—	EM-EEF2.0-3C(1C:E)(PF22)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
	電灯動力盤	
	電灯分電盤	
≡ ED	接地極 (D種) 接地極埋設標共	
≡ ED (ELCB)	接地極 (D種・ELCB) 接地極埋設標共	
	開閉器	
2	コンセント・壁付 2P15A×2	
2EET	コンセント・壁付 2P15A×2 EET	
	バンド・ホール HH： R2K-60 900×900×900	

盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧 (V)		開閉器				リモコン リレー	容量 (VA)		備考
		100	200	MCCB	ELCB	1P	2P		AF/AT	照明	
5-LP-1 1φ3W 105/210V	誘			○			○	50/20		100	誘導灯
	5-L-2 送り	3.8 kVA									
	L1	○			○		○	50/20		103	写真判定棟1F照明
	L2	○			○		○	50/20		141	写真判定棟1F照明
	C1	○			○		○	50/20		300	写真判定棟1Fコンセント
				○			○	50/20		1,000	予備
				○			○	50/20		1,000	予備
	計								344	2,300	
	合計									2.6 kva	
電灯 セパレーター											

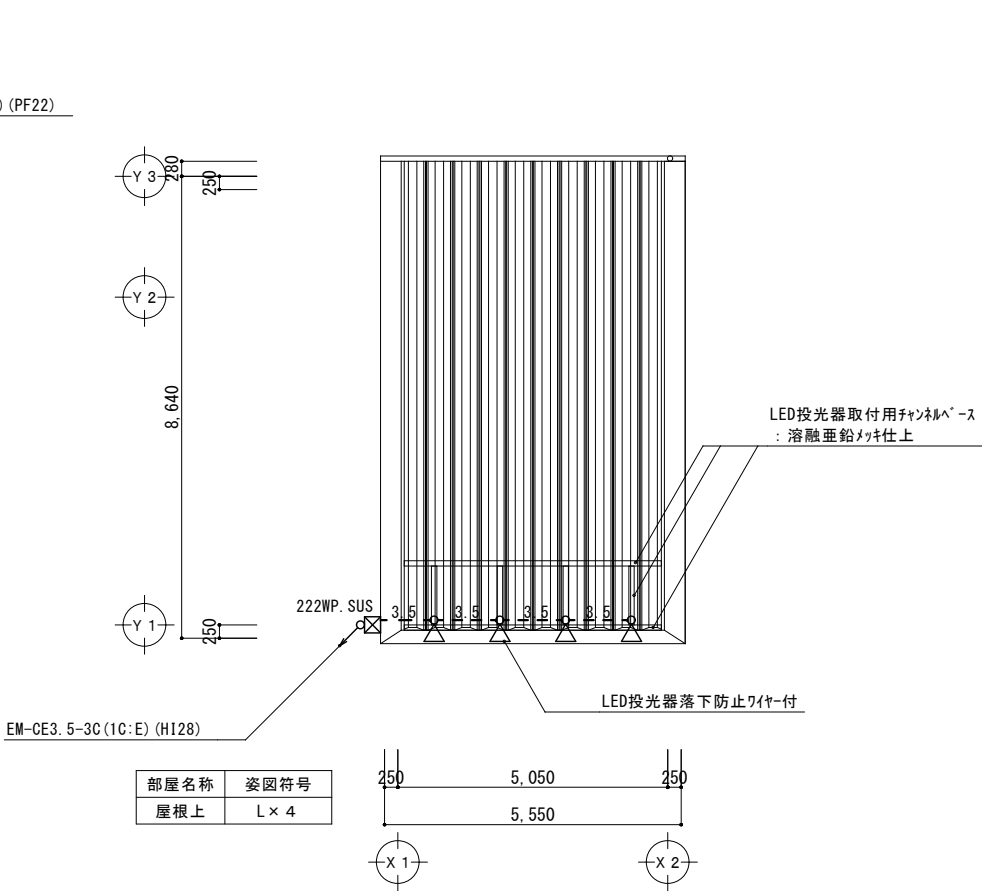
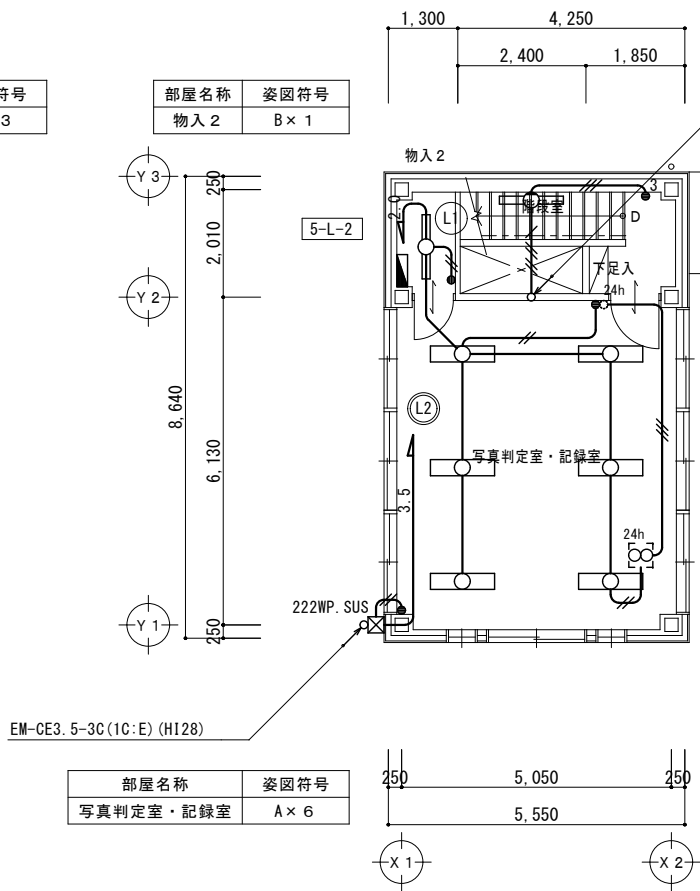
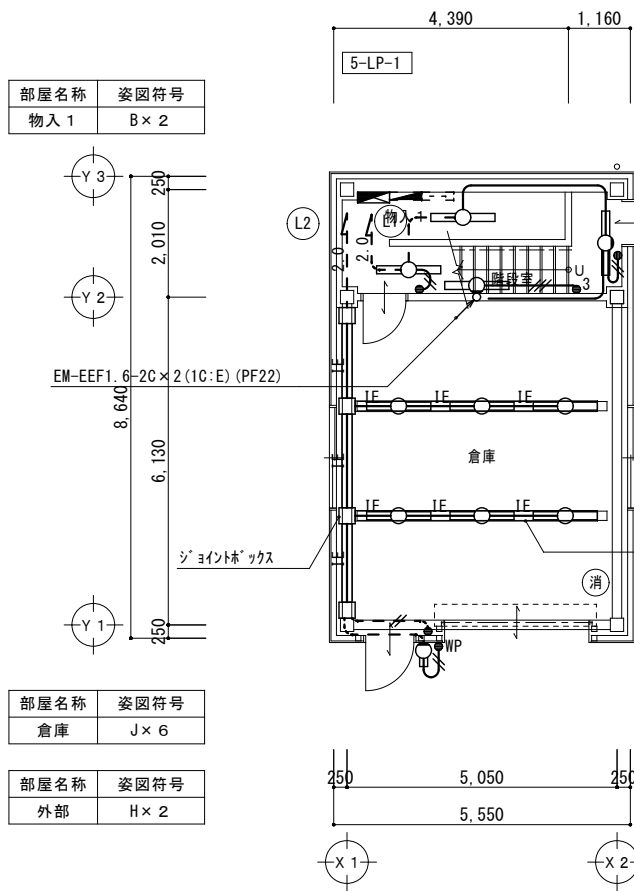
盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧 (V)	負荷名称	設置場所	負荷容量 (kw)	配線遮断器			二次側配線	動力
						MCCB	ELCB	AF/AT		
5-LP-1 3φ3W 210V	1	200	PAC-5	外部西側	2.40		○	50/20	EM-CE3.5-4C(1C:E)	H128
	合計				2.40 kw					

[illegible]

5-T-1			
構内情報通信	拡声	インターホン	コンセント
情報機器スハ [＊] -ス	20P	3P	露出2P15A×2

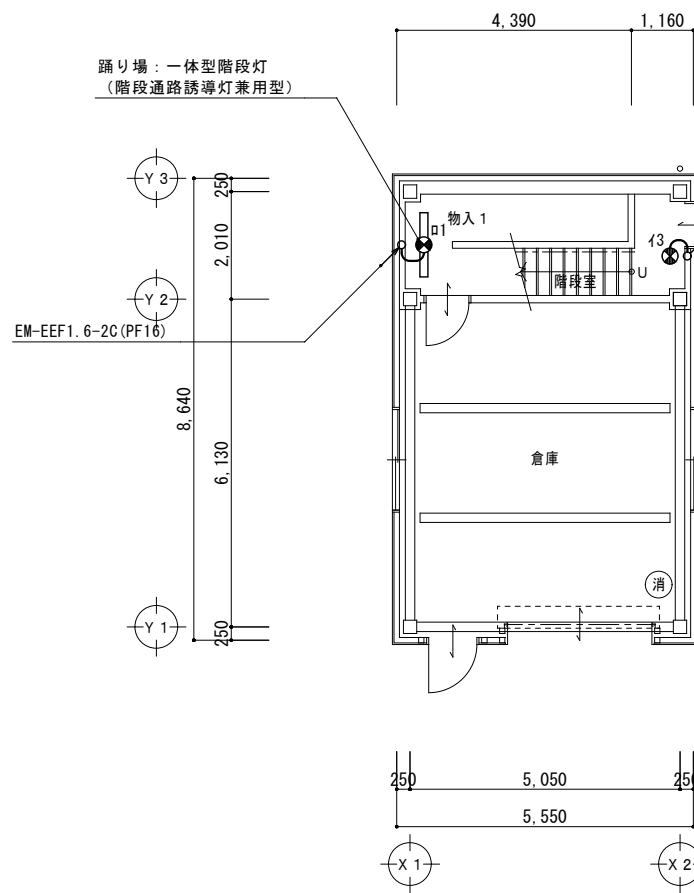
【分電盤仕様】

- ・5-LP-1：屋内壁掛型
- ・5-L-2：屋内壁掛型（上部付）
- ・5-T-1：屋内壁掛型（上部・下部外付付）
- ・手元開閉器：屋外壁掛型（SUS製）ELCB 3P50/20A

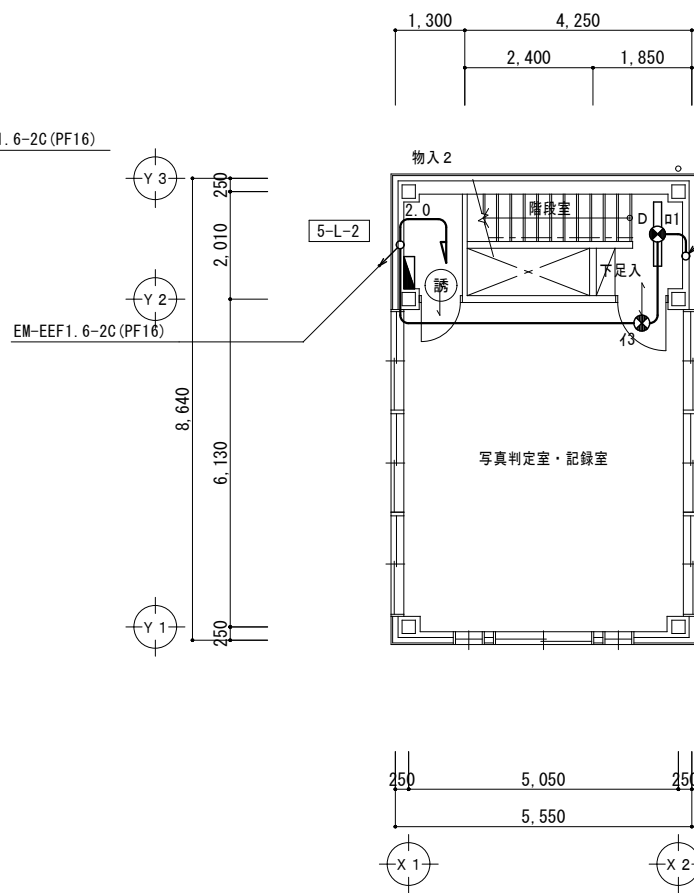


特記なき記号は下記による。			
記 号	名 称	備 考	
	電灯動力盤		
	電灯分電盤		
●	埋込スイッチ	1P15A×1	
●3	埋込スイッチ	3W15A×1	
●WP	埋込スイッチ（防雨型）	1P15A×1	
	換気扇-天井付		機械設備
	換気扇-天井付（24H換気）		機械設備
○24h	スイッチ		機械設備 材料支給

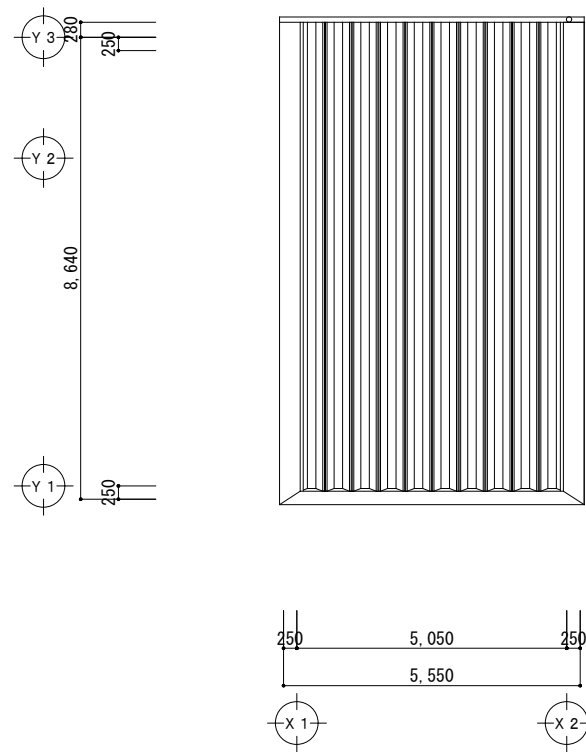
特記なき配線は下記による。			
3.5	EM-CE3.5-3C(1C:E)(PF28)		EM-EEF1.6-3C+2C(1C:E)(PF28)
3.5	EM-CE3.5-3C(1C:E)(HI28)		EM-IE2.0×3(1C:E)(E19)
2.0	EM-EEF2.0-3C(1C:E)(PF22)		EM-IE1.6×3(1C:E)
	EM-EEF1.6-3C(1C:E)(PF22)		EM-IE1.6×3(1C:E)(E19)
	EM-EEF1.6-3C(PF22)		EM-IE1.6×2(E19)
	EM-EEF1.6-2C(PF16)		



1 階 平 面 図 1/100



2 階 平 面 図 1/100



屋 根 伏 図 1/100

特記なき配線は下記による。	
2.0	EM-EEF2. 0-3C (1C:E) (PF22)
	EM-EEF1. 6-2C (PF16)

【誘導灯関連】	
1.	避難口誘導灯を設置する箇所の建具は、内側から鍵を用いずサムターン等で手動開放可能とする。
2.	誘導灯は専用電源とする。
3.	誘導灯と非常用の照明装置の電源は別とする。

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			<div><div><div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div><div><div>MAINO</div><div>株式会社</div></div><div>前野建築設計</div></div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 <div><div>水商</div><div>清野</div><div>三橋</div></div>	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事		図面番号 縮 尺 A2:1/100 A3:1/141 E026 (原図:A2)						
	【⑤写真判定棟】誘導灯設備 1階・2階平面図																			

盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧 (V)		開閉器					リモコン リレー	容量 (VA)		備考	
		100	200	MCCB	ELCB	1P	2P	AF/AT		照明	コンセント		
7-L-1 1φ 3W 105/210V	誘	○		○				○	50/20		10		誘導灯
	通	○		○				○	50/20			15	火災通報装置
	T	○		○				○	50/20			150	7-T-1
	非	○		○				○	50/20		10		非常用照明
	L1	○		○				○	50/20		439		事務室照明
	L2	○		○				○	50/20		375		トイレ・シャワー室照明
	L3	○		○				○	50/20		512		多目的室1・更衣室1照明
	L4	○		○				○	50/20		512		多目的室2・更衣室2照明
	L5	○		○				○	50/20		168		廊下・出入口
	T1	○			○			○	50/20		135		外壁照明
	C1	○		○				○	50/20			1,250	レーザープリンター
	C2	○		○				○	50/20			1,200	レーザープリンター
	C3	○		○				○	50/20			1,200	UPS
	C4	○		○				○	50/20			300	事務室コンセント
	C5	○			○			○	50/20			150	給湯器コンセント
	C6	○		○				○	50/20			600	多目的室1・更衣室1コンセント
	C7	○		○				○	50/20			600	多目的室2・更衣室2コンセント
	C8	○			○			○	50/20			1,300	電気ポットコンセント
	C9	○			○			○	50/20			1,300	電気ポットコンセント
	VPU	○		○				○	50/20			700	A1カメラ VPU用コンセント
	AMP	○		○				○	50/20			360	フィールド放送アンテナ
		○		○				○	50/20			1,000	予備
		○		○				○	50/20			1,000	予備
	計 2,161 11,125												
	合計 13.3 kva												
特記事項	1. 付属品一式												
	2. 主幹一次ブレーカにはストッパー取付												
	3. 年間プログラムタイマー×1台												

◎ ED

◎ ED (ELCB)

盤名称・電気方式 主開閉器	回路	電圧 (V)	負荷名称	設置場所	負荷容量 (kw)	配線遮断器			二次側配線	
						MCCB	ELCB	AF/AT		
<div>7-P-1</div> <div>3φ3W 210V</div> <div><div>○</div><div>×</div></div> <div>MCCB 3P 225/150</div> <div><div>○</div><div>ED</div></div> <div>ED (ELCB)</div>										
	1	200	PAC-6	外部西側	6.23		○	60/40	EM-CE8-4C(1C:E)	HI36
	2	200	PAC-7	外部西側	4.32		○	50/30	EM-CE5.5-4C(1C:E)	HI36
	3	200	PAC-8	外部西側	4.32		○	50/30	EM-CE5.5-4C(1C:E)	HI36
	4	200	PAC-9	外部西側	3.91		○	50/30	EM-CE5.5-4C(1C:E)	HI36
	5	200	PAC-10	外部西側	3.91		○	50/30	EM-CE5.5-4C(1C:E)	HI36
	合計				22.69	kW				

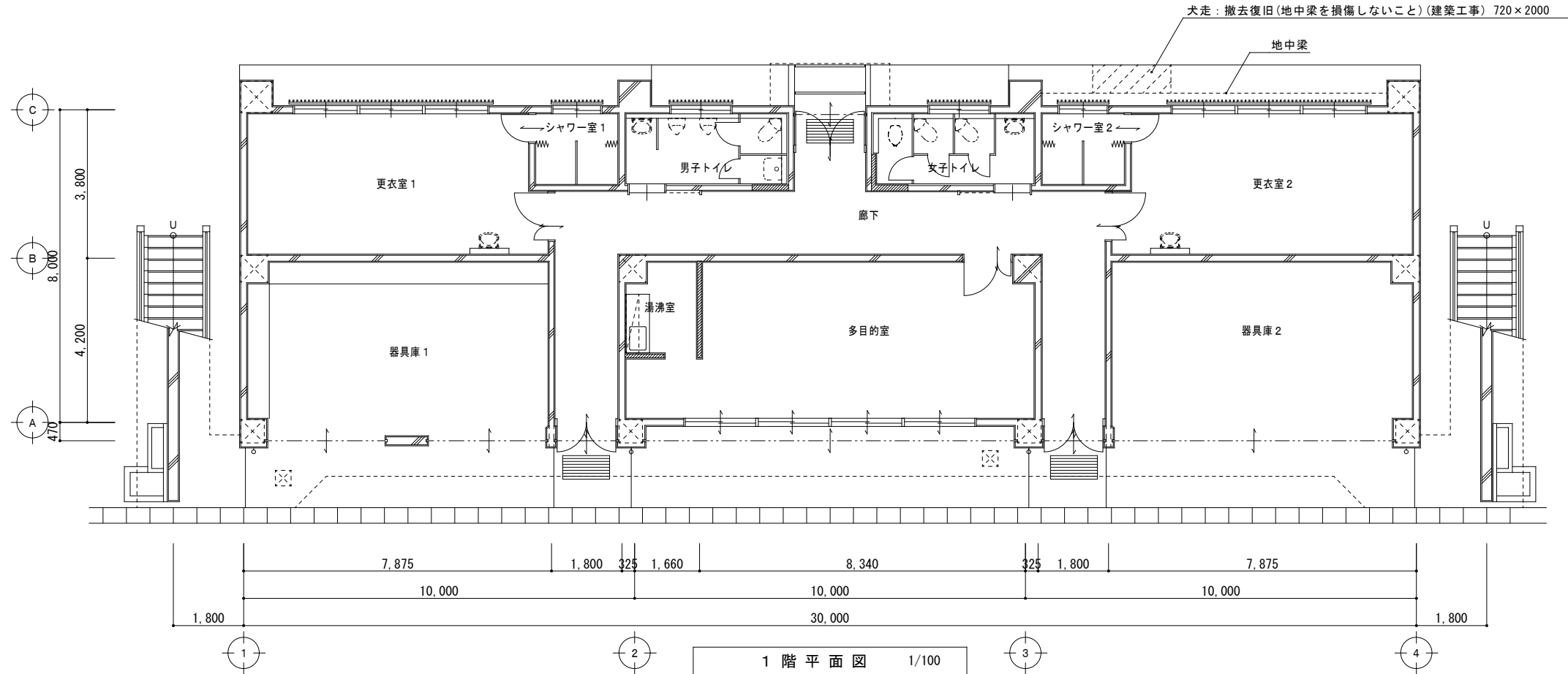
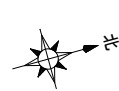
7-T-1

構内情報通信	拡声	コンセント
情報機器スペース	40P	露出2P15A×2

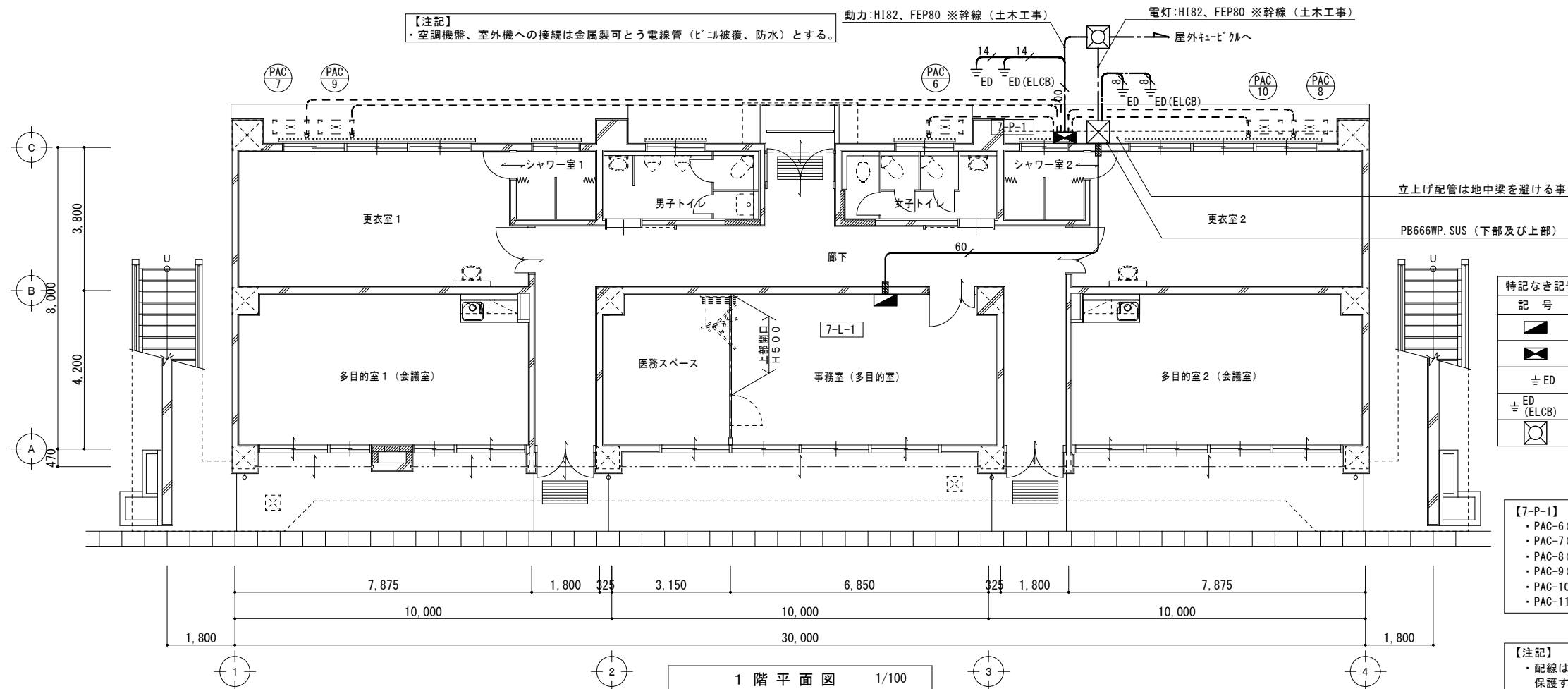
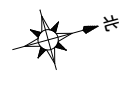
【分電盤仕様】
・ 7-L-1：屋内壁掛型（上部ダクト付）
・ 7-P-1：屋外壁掛型（SUS製）
・ 7-T-1：屋内壁掛型（上部ダクト付）

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）										設計日
<div><div><div><div>MAINO</div><div>株式会社 前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div><div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div>代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div><div><div>設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子</div><div>設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃</div><div>設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作</div></div><div>法適合確認</div><div><div>作図 水間</div><div>監図 三橋 将輝</div></div><div>工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事</div><div>図面名称 【⑦スタンド棟】分電盤図</div><div>縮 尺 A2: NS A3: NS</div><div>図面番号 E029 (原図:A2)</div></div></div>											

改修前



改修後



特記なき記号は下記による。		
記号	名称	備考
■	電灯分電盤	
■	動力分電盤	
≡ ED	接地極 (D種) 接地極埋設標共	
≡ ED (ELCB)	接地極 (D種・ELCB) 接地極埋設標共	
⊗	ハンドヘル HH : R8K-60 1200×1200×900	土木工事

- 【7-P-1】
- ・PAC-6 (3φ3W) : EM-CE8-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)
 - ・PAC-7 (3φ3W) : EM-CE5.5-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)
 - ・PAC-8 (3φ3W) : EM-CE5.5-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)
 - ・PAC-9 (3φ3W) : EM-CE5.5-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)
 - ・PAC-10 (3φ3W) : EM-CE5.5-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)
 - ・PAC-11 (3φ3W) : EM-CE5.5-4C (1C:E) (H136) (F2WP38)

- 【注記】
- ・配線は天井裏ころがしとし立下露出部は金属線びにて保護する。

改修前



部屋名称	姿図符号
更衣室 1	A × 2 F × 1

部屋名称	姿図符号
器具庫 1	A × 2

【L-1】
1φ3W 210/105V
主幹ブレーカ: ELB 3P50/50 × 1
分岐ブレーカ: MCB 2P50/20 × 11
MCB 2P50/30 × 2

部屋名称	姿図符号
シャワー室 1	D × 1

部屋名称	姿図符号
男子トイレ	A × 1 F × 1

部屋名称	姿図符号
廊下 出入口	B × 4 H × 1 I × 1

部屋名称	姿図符号
女子トイレ	A × 1 F × 1

部屋名称	姿図符号
シャワー室 2	D × 1

【注記】
・図中の実線表記は、撤去とする。

部屋名称	姿図符号
更衣室 2	A × 2

部屋名称	姿図符号
外壁	C × 9

部屋名称	姿図符号
器具庫 2	A × 2

【既設照明機種】
A: FFS4-402 RSH
B: K1-FFS4-401RH
C: FBC1-RP-201
D: FBC2-RP-201-GL
E: FBC2-401-RH
F: FBC2-201-RH
G: FBS2-201-GL
H: FRF2-C401.301
I: SH1-FSF11-201

特記なき配線は下記による。

———	IV1.6 × 2 (19)
———	IV1.6 × 3 (19)
———	IV1.6 × 4 (19)
———	IV1.6 × 5 (25)
———	IV1.6 × 6 (25)

1 階 平 面 図 1/100

改修後



部屋名称	姿図符号
更衣室 1	B × 4 G × 1

部屋名称	姿図符号
多目的室 1 (会議室)	A × 6

特記なき記号は下記による。

記 号	名 称	備 考
⬢	電灯動力盤	
●	埋込スイッチ 1P15A × 1	
●3	埋込スイッチ 3W15A × 1	
●4	埋込スイッチ 4W15A × 1	
●L	埋込スイッチ 1P15A (L) × 1	
▽	熱線式自動スイッチ用センサ 親機	WTK24818
▽S	熱線式自動スイッチ用センサ 子機	WTK29129
▽F	熱線式自動スイッチ用センサ 子機 換気扇連動型	WTK29318
●2S	熱線式自動スイッチ用 操作ユニット (2回路用)	WTA5822WK
⊠	換気扇-天井付	機械設備
⊠24h	換気扇-天井付 (24H換気)	機械設備
○24h	24H換気用スイッチ (機械設備より支給品)	機械設備 材料支給
■	コブ抜	

部屋名称	姿図符号
シャワー室 1	K × 1

部屋名称	姿図符号
男子トイレ	F × 4 G × 1

部屋名称	姿図符号
廊下 出入口	B × 6 D × 1

部屋名称	姿図符号
女子トイレ	F × 5 G × 1

部屋名称	姿図符号
シャワー室 2	K × 1

部屋名称	姿図符号
更衣室 2	B × 4 G × 1

部屋名称	姿図符号
外壁	H × 9

部屋名称	姿図符号
多目的室 2 (会議室)	A × 6

特記なき配線は下記による。

———	EM-CE2-3C (H122)
——— 2.0	EM-EEF2.0-3C (1C:E) (PF22)
———	EM-EEF1.6-2C (PF16)
———	EM-EEF1.6-3C (PF22)
———	EM-EEF1.6-3C (1C:E) (PF22)
———	EM-EEF1.6-2C × 2 (PF22)
———	EM-EEF1.6-3C+2C (1C:E) (PF28)
——— 6	EM-EEF1.6-3C × 2 (PF28)

【注記】
・配線は天井裏ころがしとし立下露出部は金属線びにて保護する。

1 階 平 面 図 1/100

特 意見を開いた建築設備士: エーエフ環境技術オフィス 水谷浩 (建築設備士 第28D1-0077MT号)

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者
一級建築士 第320204号 前野 将輝

設計担当
一級建築士 第307846号 三橋 五百子

設計担当
一級建築士 第378328号 加藤 早紀

設計担当
一級建築士 第360917号 前田 祐作

設計担当
法適合確認

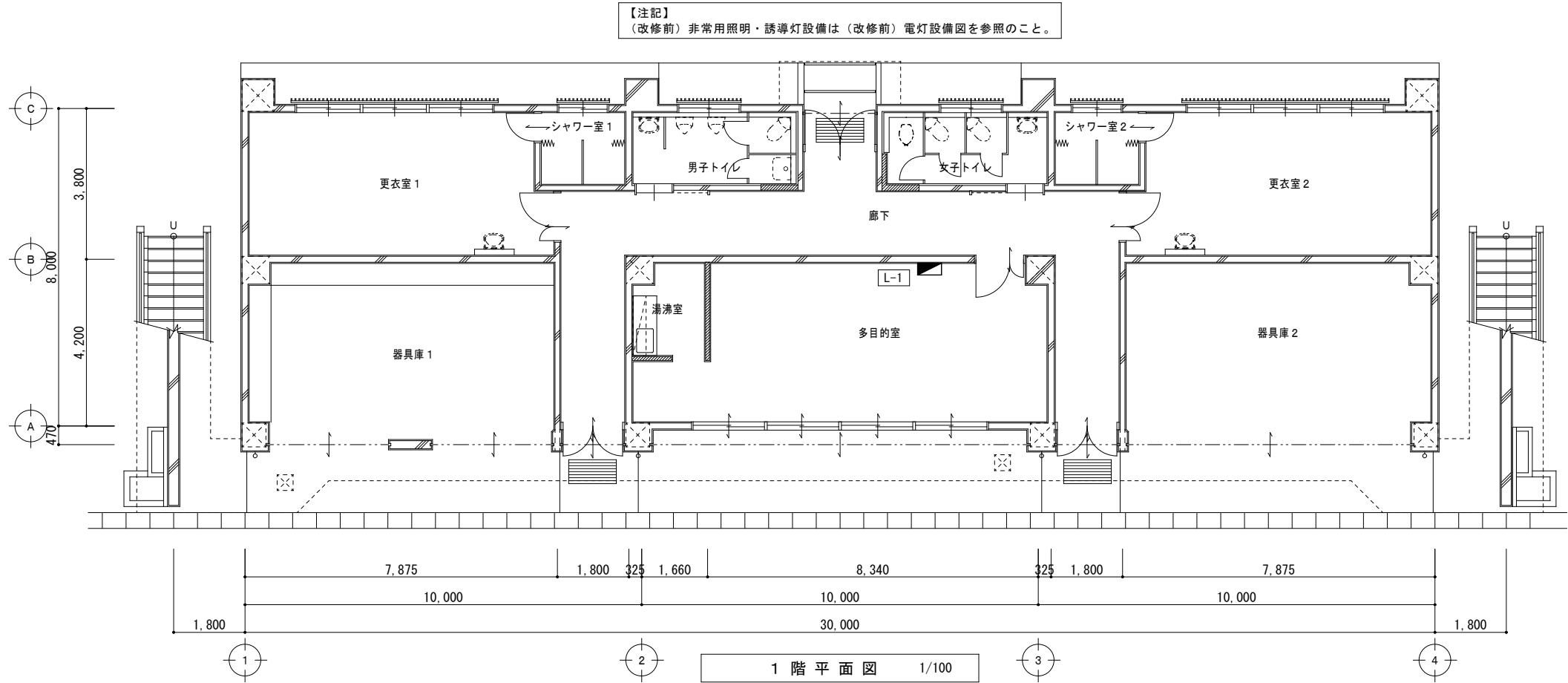
作図
水谷 浩

監図
三橋 五百子

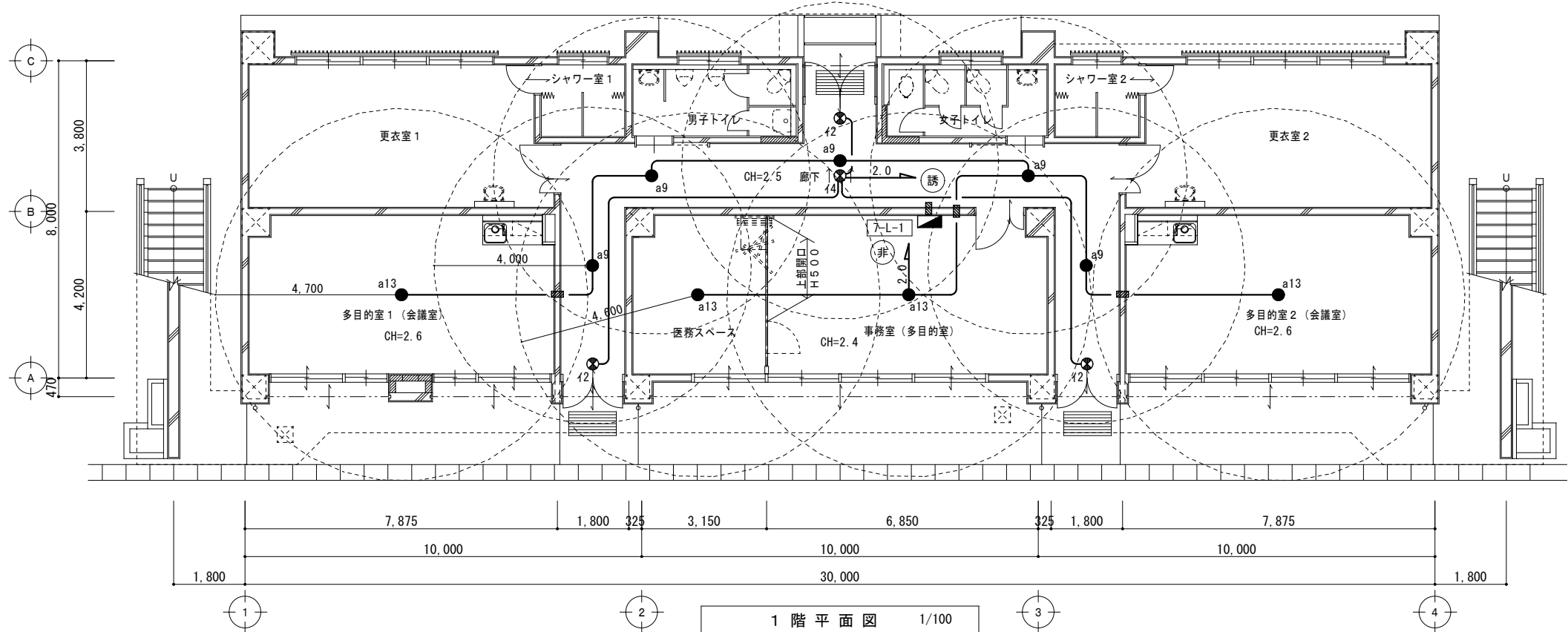
工事名称
海浜公園内陸上競技場改修工事
図面名称
【(7)スタンド棟】 改修前 改修後 電灯設備
1階平面図

縮 尺
A2: 1/100
A3: 1/141
図面番号
E031
(原図: A2)

改修前



改修後



【誘導灯関連】
1. 避難口誘導灯を設置する箇所の建具は、内側から鍵を用いずサムターン等で手動開放可能とする。
2. 誘導灯は専用電源とする。
3. 誘導灯と非常用の照明装置の電源は別とする。

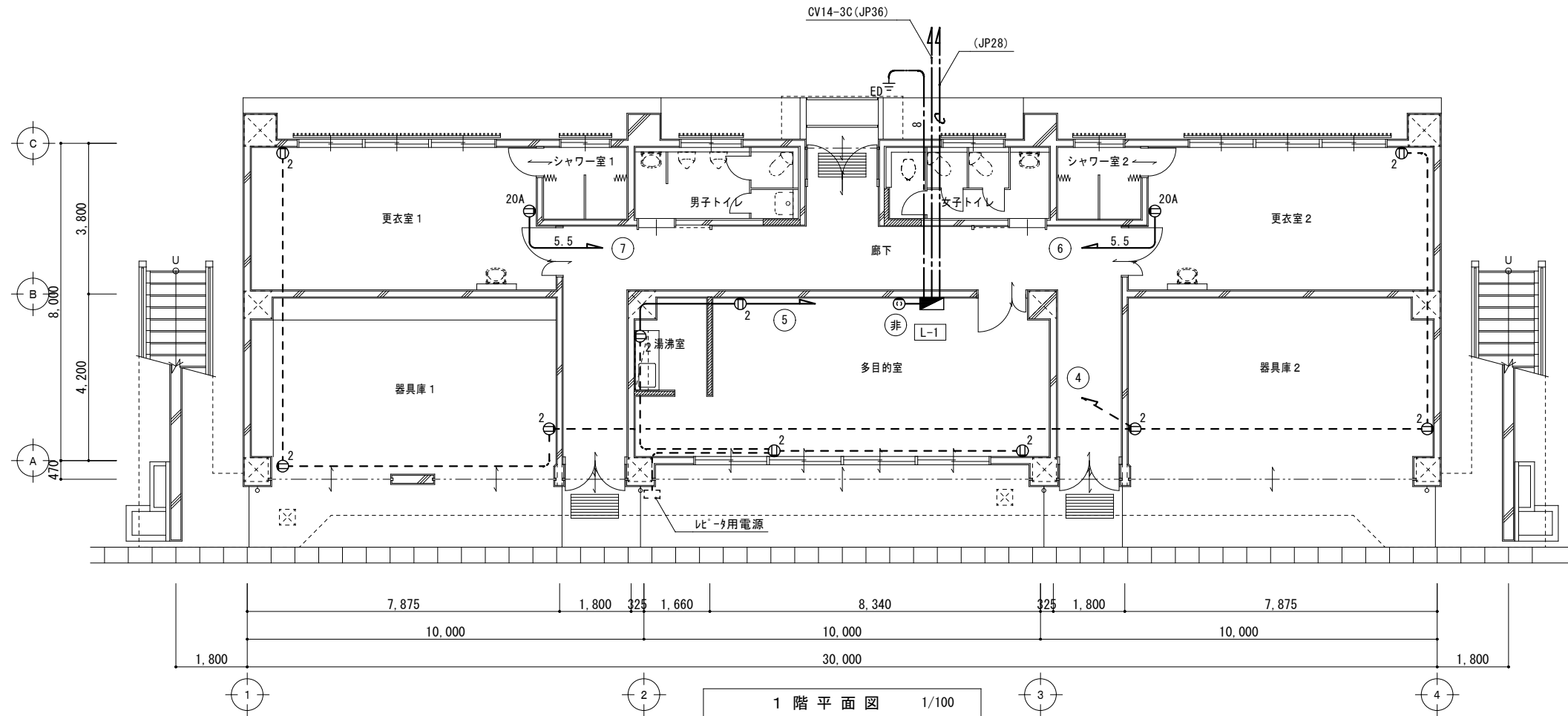
特記なき配線は下記による。	
2.0	EM-EEF2.0-3C(1C:E)(PF22)
	EM-EEF1.6-3C(1C:E)(PF22)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
☑	電灯動力盤	
●	非常用照明	
⊗	避難口誘導灯	
⊗標	誘導標識（蓄光式）	2F
≡	ｺﾌ抜	

【注記】
・配線は天井裏ころがしとし立下露出部は金属線びにて保護する。

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			<div><div><div><div></div></div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div><div>MAKINO</div><div>株式会社</div></div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 <div>水谷</div>	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日							
	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝									縮 尺 A2: 1/100 A3: 1/141	図面番号 E032 (原図: A2)									

改修前

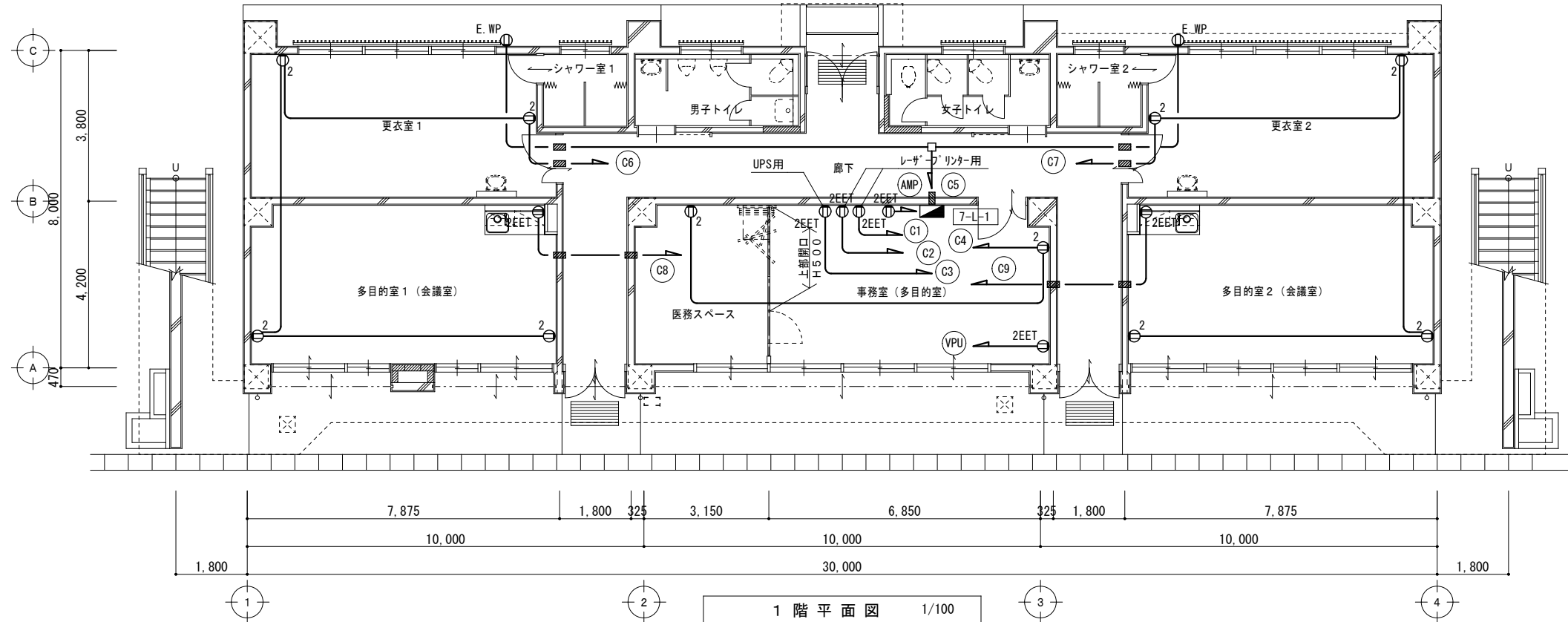


【注記】
・図中の表記は、撤去とする。

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
■	分電盤	
① 2	コンセント-壁付 2P15A×2	
① 20A	コンセント-壁付 2P20A×2	
Ⓢ	コンセント-壁付-2P引掛形	
≡ ED	接地極 (D種)	

特記なき配線は下記による。	
— 8 —	1V8 (VE14)
— 5.5 —	5.5×2 (25) E5.5
— — —	1V2.0×2 (19)
- - - -	1V2.0×2 (19)

改修後

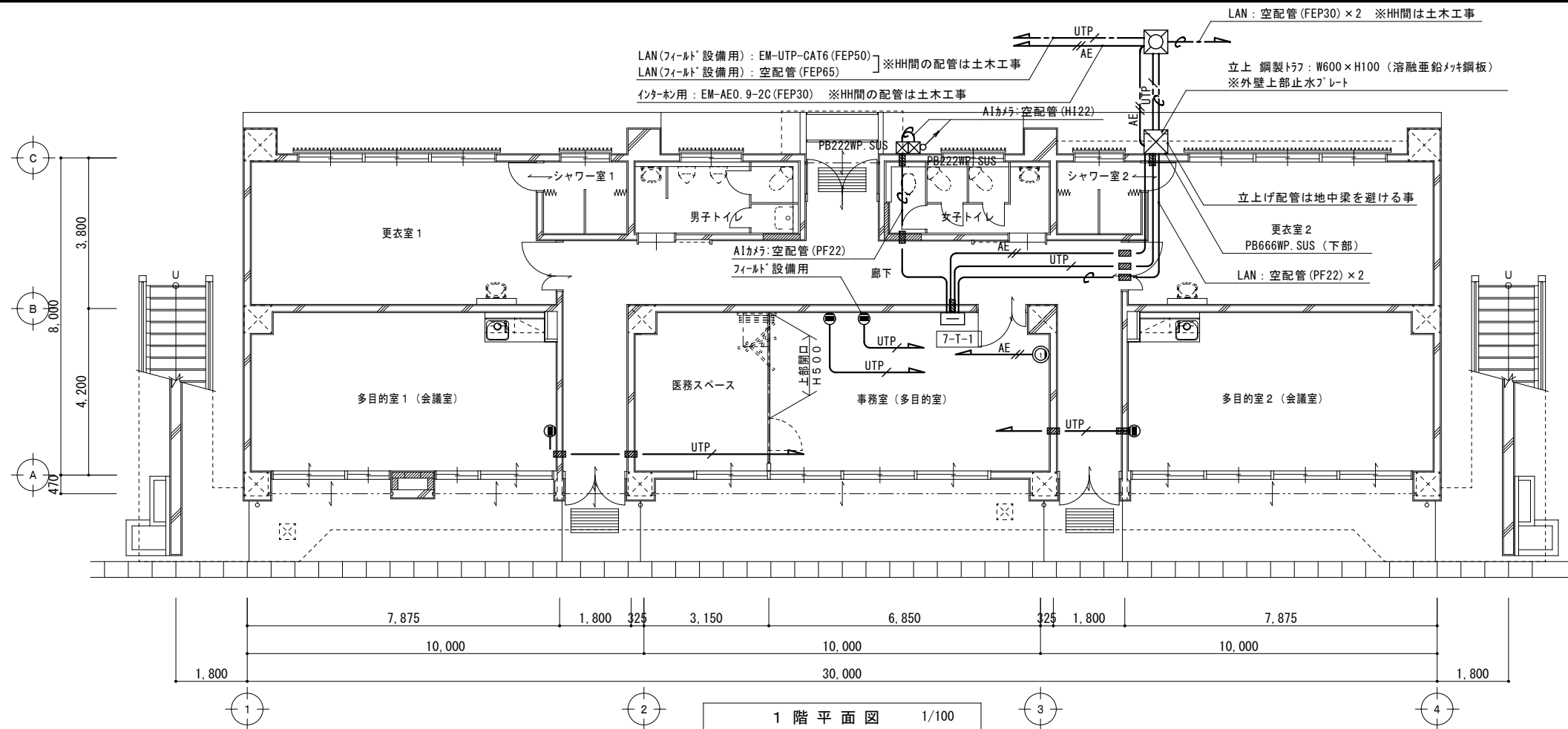
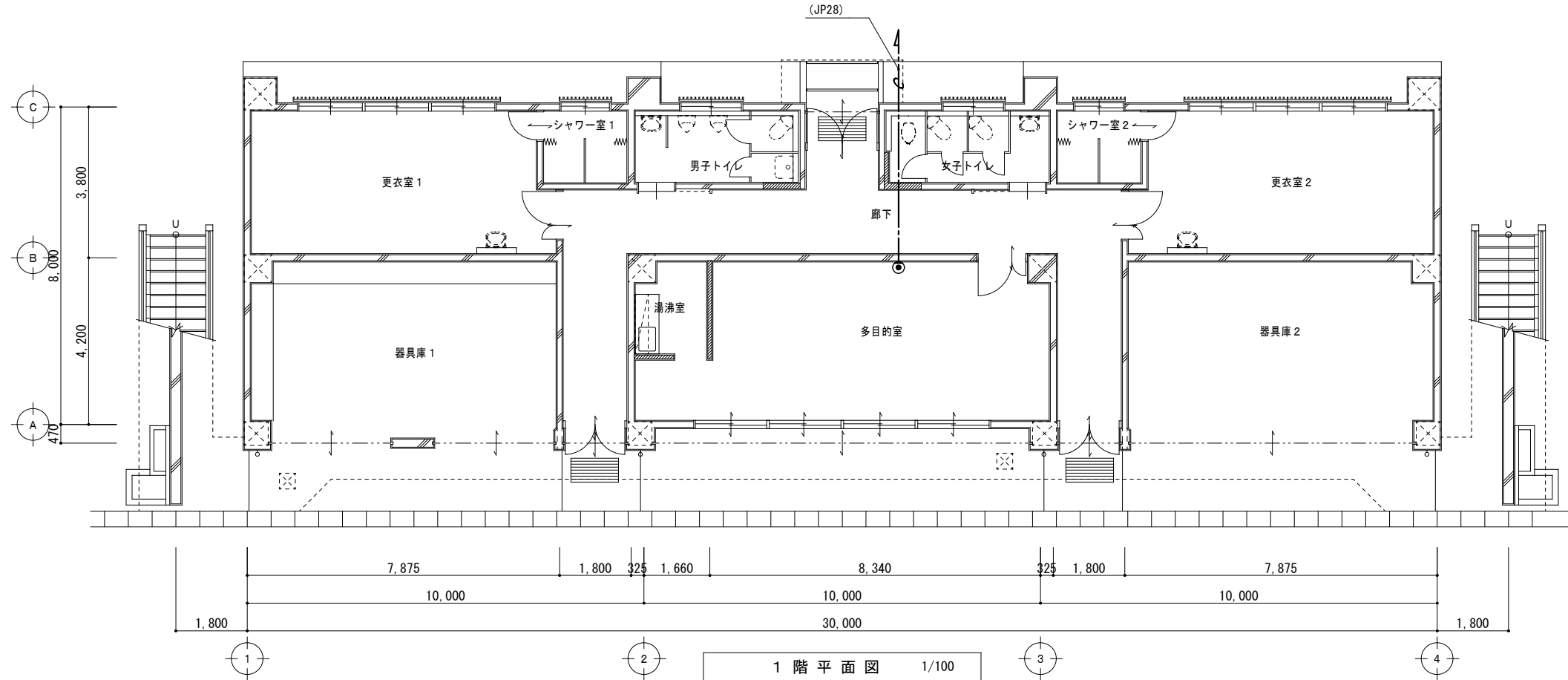


特記なき配線は下記による。	
— — —	EM-EEF2.0-3C (1C:E) (PF22)

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
■	分電盤	
① 2	コンセント-壁付 2P15A×2	
① 2EET	コンセント-壁付 2P15A×2 EET	
① E.WP	防滴コンセント-壁付 2P15A×2 EET付 フル接地防水タイプ	
≡	コ7抜	

【注記】
・配線は天井裏ころがしとし立下露出部は金属線びにて保護する。

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
				株式会社 前野建築設計		一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第307828号 加藤 早紀	一級建築士 第360917号 前田 祐作			海浜公園内陸上競技場改修工事	
				管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝									【(7)スタンド棟】 改修前 改修後 コンセント設備 1階平面図	縮 尺 A2:1/100 A3:1/141 図面番号 E033 (原図:A2)

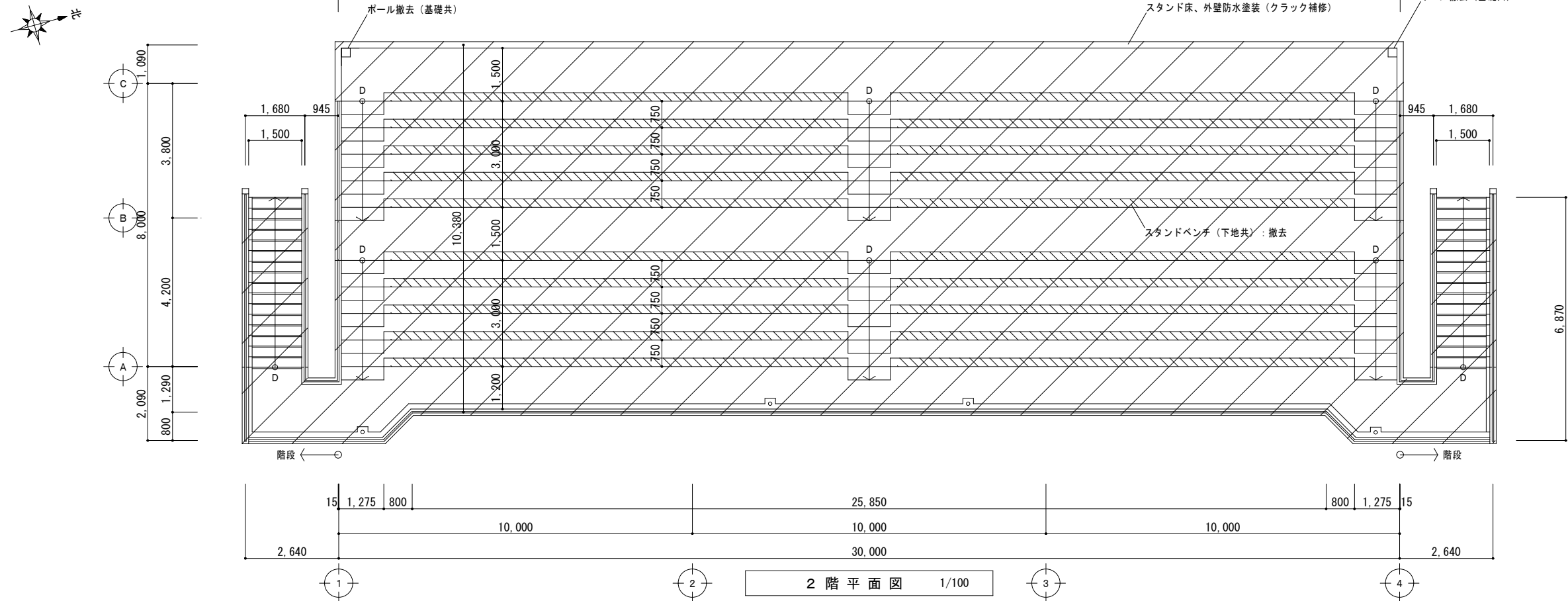


特記なき配線は下記による。		
UTP	EM-UTP-CAT6	LAN
TEL	空配管 (PF22)	TEL
AE	EM-AE0. 9-2C	インターホン

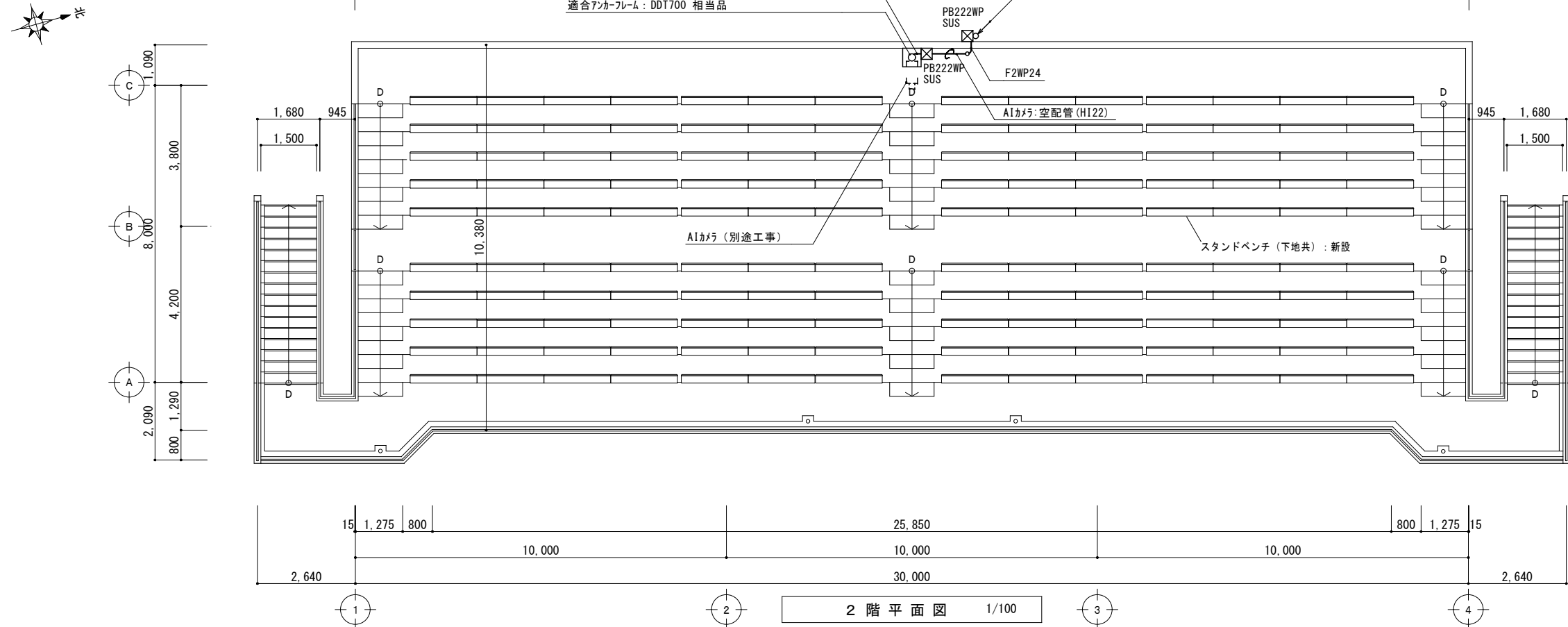
特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
□	端子盤	
●	情報用アットレット壁付	
⊙	電話用アットレット壁付	
⊗	電話機形インターホン親機壁付	
⊠	フルホックス	
⊞	コブ抜	
⊞	ハンドホール HH: R8K-60 900 x 900 x 900	土木工事



【注記】
・配線は天井裏に隠しとし立下露出部は金属線びにて保護する。

改修前



改修後



特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
					一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作			 図面名称 【⑦スタンド棟】 改修前 改修後	縮尺 A2: 1/100 A3: 1/141	図面番号 E035 (原図: A2)

改修前

スタンド2階 既設ホンスビ-カ 2台 (ホ-ル及び取付金物共) : 撤去

スタンド2階 既設ホンスビ-カ 2台 (ホ-ル及び取付金物共) : 撤去

【注記】
・図中の表記は、撤去とする。

特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
AMP	非常用アンプ	
⊙	電話用7xトレット壁付	
⊗	スピーカ	
アンテナ	アンテナ	

特記なき配線は下記による。	
—//—	HIV1. 2×2 (19)
—///—	HIV1. 2×3 (19)
—////—	HIV1. 2×5 (19)

1 階 平 面 図 1/100

改修後

EM-AE1. 2-5P
EM-UTP-CAT6 (シールド付) (FEP40) ※HH間の配管は土木工事

EM-AE1. 2-5P×3 (FEP40) ※HH間の配管は土木工事

EM-AE1. 2-5P×4 (FEP50)
EM-UTP-CAT6 (シールド付)

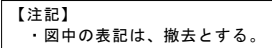
特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
端子盤	端子盤	
RM	非常業務放送用遠隔操作器	
⊗	スピーカ	
アンテナ	スピーカアンテナ付	
アンテナ	アンテナ	
C	電源遮断ユニット	
AMP	フィールド放送用アンプ : 240W	
AMP増	フィールド放送用増設アンプ : 120W	
MR	フィールド放送用リモコンマイク	
⊗	ハンドホ-ル HH : R8K-60 900×900×900	土木工事



特記なき配線は下記による。	
2.0	EM-EEF2. 0-3C (1C:E) (PF22)
—	EM-HP1. 2-3C
H2C	EM-HP1. 2-2C (カットリレー用)
H10P	EM-HP1. 2-10P (FEP30)
H2C, H10P	EM-HP1. 2-2C、EM-HP1. 2-10P (FEP30)

1 階 平 面 図 1/100

【注記】
・配線は天井裏ころがしとし立下露出部は金属線びにて保護する。

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士 : エーエフ環境技術オフィス 水谷浩 (建築設備士 第2801-0077MT号)			一級建築士事務所 三重県知事登録 第4769号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	図面番号	図面尺	図面番号	設計日
				株式会社 前野建築設計		二級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第360917号 前田 祐作				海浜公園内陸上競技場改修工事	【(7)スタンド棟】	A2: 1/100 A3: 1/141	E036 (原図: A2)	
				管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝		前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早紀	前田 祐作				改修前 改修後	拡声設備 1 階平面図			

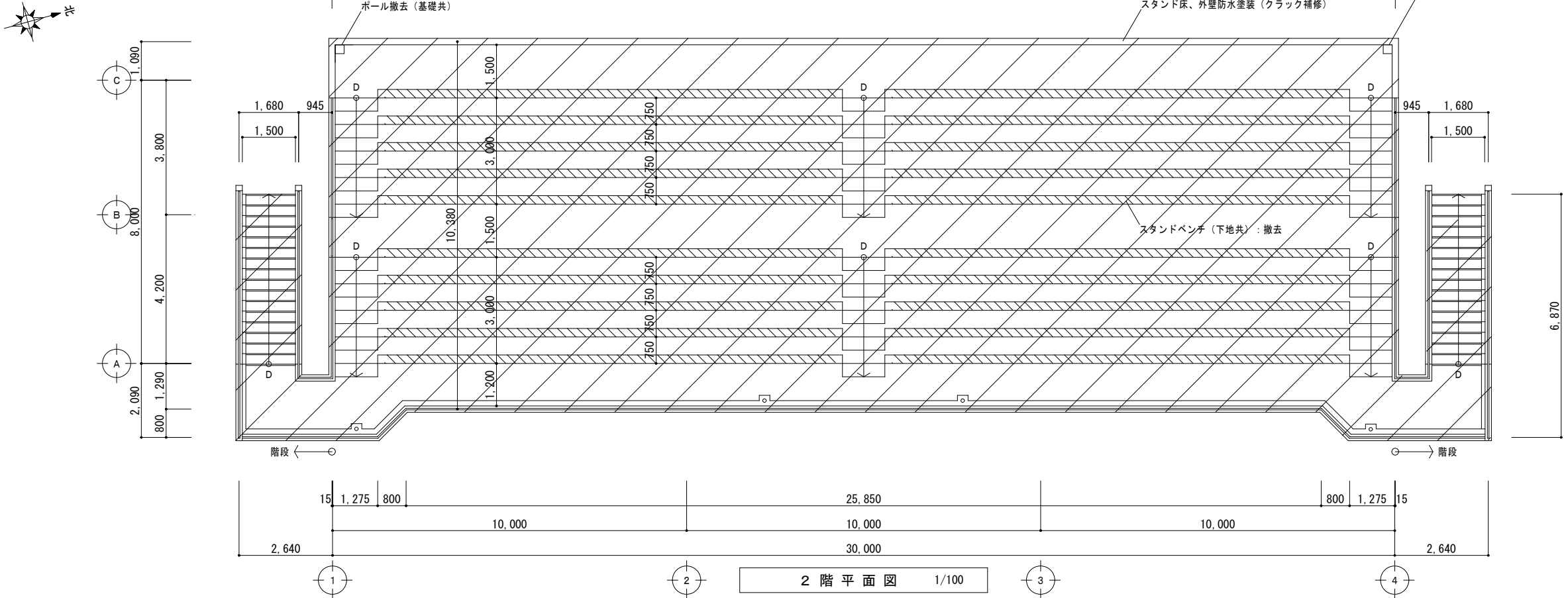


特記なき配線は下記による。	
	IV1.2×2(19)
	IV1.2×6(25)

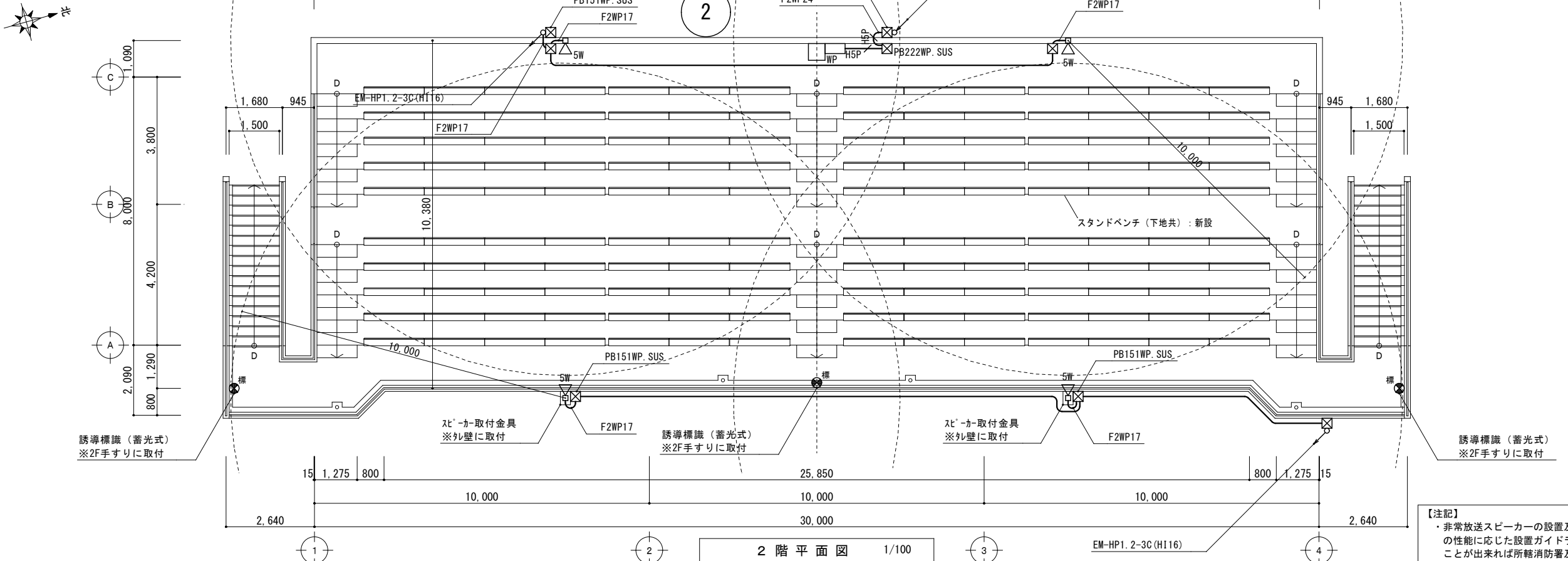


【注記】
・配線は天井裏ころがしとし立下露出部は金属線ぴにて保護する。

改修前







改修後



【注記】

- ・非常放送スピーカーの設置及び仕様は、「放送設備のスピーカーの性能に応じた設置ガイドライン」等の検討により、個数を減らすことが出来れば所轄消防署及び監督員と協議の上、決定すること。

特 記 事 項	意見を聞いた建築設備士：エーエフ環境技術オフィス 水谷浩（建築設備士 第28D1-0077MT号）			<div></div> <div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div> <div>株式会社 前野建築設計</div> <div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
					一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作			<div></div> 海浜公園内陸上競技場改修工事		
										<div></div> 図面名称	誘導灯・拡声 自動火災報知設備 2階平面図	縮尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 E038 (原図:A2)
										<div></div> 【⑦スタンド棟】改修前 改修後			

機械設備工事特記仕様書

1 工事名称

海浜公園内陸上競技場改修工事

2 工事場所

3 建築概要

管理棟 鉄筋コンクリート造 2階建 延面積 448.00㎡

写真判定棟 鉄骨造 2階建 延面積 95.90㎡

サッカーゴール棟収納庫 鉄骨造 平屋建 延面積 234.00㎡

陸上器具庫 鉄骨造 平屋建 延面積 300.00㎡

屋外トイレ ユニット 延面積 13.00㎡×2

改修 スタンド棟 鉄筋コンクリート造 240.00㎡

4 適用基準

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）令和4年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和4年版」
独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」
下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。

5 一般事項

工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。
設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書と오りに施工することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図書とよりの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。
他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。
(1) 提出図書 ■建築工事に準じる
完成図等 ・作成する（・完成図 ・保全に関する資料 ・（ ））
・完成図作図範囲（設計図を訂正）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権第27条及び第28号に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。
※ 工事写真は営繕工事写真撮影要領（国土交通大臣官房官庁営繕部監修（最新版））に従い撮影すること。
なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月1日付け国営建築第14号）」による。
※ 建築包含工事の場合、監督員に確認のこと。

2) 機器及び材料等

工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届け出ること。
尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているのので、メーカー選定にあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。
又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。

3) 官公署等への届出手続

工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が滞滞なく行い、これに要する費用も負担する。
1) 消防署に係る消防用設備等設置届出書の作成
□本工事(□建築工事 □電気設備工事 □機械設備工事)
□別途工事
2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成(機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入)を行うこと。

4) 品質管理

工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。
チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。

5) 出来形管理

以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。
1) 各種機器据付
・耐震強度（設計標準強度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ）
・基礎寸法
・水平、垂直等
2) 配管・ダクト工事
・支持間隔
・振れ止め支持間隔
3) 屋外排水工事
・排水勾配
・樹の深さ
4) 水栓、リモコンスイッチ類の取付高さ
(6) 製品確認
発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。
□適用する ■適用しない

7) 耐震安全性の分類

構造体（ ）類 建築非構造部材（ ）類 建築設備（ ）類

8) 機器の地震力（主要機器） □図示による

機器名 空冷ヒートポンプエアコン式マルチエアコン（屋外機）、空冷ヒートポンプパッケージエアコン（屋外機）
設置階（ 1.0 ） 設計標準震度Ks（ 1.0 ） 地域係数（ 1.0 ）
水槽類
設置階（ ） 設計標準震度Ks（ ） 地域係数（ 1.0 ）

その他監督員が指示するもの

(9) 冷媒（フロン類）の回収 □適用する □適用しない
冷媒機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。
・フロン回収行程管理票
・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）
撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。
パッケージ形空調機の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。

10) 中間技術検査

実施回数（ ）回
実施する段階（ ）

(11) 発生材の処理等 ■建築工事に準じる

本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。
1) 引渡しを要するもの（ ）
上記以外の引渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。
2) 特別管理産業廃棄物（ ）
処理方法（ ）
なお施工に際して廃石綿等特別管理廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。
3) 建設発生土（ □構内敷きならし □処分地指定 処分地（ ）
（ □処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離（ ）km ）
4) 現場内において再利用を図るもの（ ）
5) 分別解体等の方法

工 程	作業内容	分別解体等の方法
□新 築	□有	□手作業
□改 修	□無	□手作業、機械作業併用
□解 体		

6) 再資源化を図るもの（ □コンクリート塊 □アスファルトコンクリート塊 □建設発生木材 ）
7) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。（マニフェストA、B2、D票を提示すること。）

(12) 電気保安技術者 □配置する ■配置しない

(13) 施工条件
監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。 ■建築工事に準じる
1) 施工可能日 □一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □指定なし（ ）
2) 施工可能時間帯 □指定なし □指定あり（ 時 ～ 時 ）
(14) 仮設工事 構内既存の施設 ■建築工事に準じる
1) 便所 □利用できる □利用できない
2) 工事用水 □利用できる（有償） □利用できる（無償） □利用できない
3) 工事用電力 □利用できる（有償） □利用できる（無償） □利用できない
※ 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。
(15) 足場 ■建築工事に準じる
内部足場の種別（参考） □脚立 □棚足場 □（ ）
外部足場の種別（参考） □手摺先行据置枠組本足場 □その他（ ）
防護シート等による養生 □適用する □適用しない
設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。
つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものである場合は、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に關し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。
1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者
2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参照者」に必要な資格を有する者
3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者

(16) 建築材料等
1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。
品質が求められる水準以上であれば、市内生産品の優先使用に努めること。
2) 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
3) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。
(認定製品の品名：)
4) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するよう努めること。
(認定製品の品名： ・間伐材製工事用バリケード・間伐材工事看板・間伐材表示板）（ ）
(17) 三重県産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を送付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。なお、この期間を超えて請求することはできない。
また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

(18) 事故の発生時
工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。
なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

(19) 既設との取合い・養生
本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。
また、工事施工に際し、既存部分を汚損、破損等しないよう養生を行うこと。なお汚損・破損等した場合は、機能・仕上げ共、既設にない回復すること。
(20) 不正経路の使用の禁止
1) 一般事項
工事現場で使用し、又は使用される車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。
また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。
また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかには正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。

(21) その他

1) 使用機械
低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。
2) 測定機器の校正記録
工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。
測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。
3) フロン回収及び充填
当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（令和2年4月1日施行）等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。
(22) 現場での安全確保（自主施工の原則）
1) 受注者は工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。
2) 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
(23) 建築副産物情報交換システムの利用
受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び 再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。
なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。

6 工事種目

給排水衛生設備工事
■ 屋外給水設備工事 ■ 屋内給水設備工事 ■ 屋外排水設備工事
■ 屋外排水通気設備工事 ■ 衛生器具設備工事 □ 消火設備工事
■ 給湯設備工事 ■ 屋外ガス設備工事
□ 浄化槽設備工事 □ 厨房機器設備工事

空調設備工事
■ 機器設備工事 ■ 配管設備工事 ■ 換気設備工事

自動制御設備工事
□ 自動制御設備工事

7 工事概要

給排水衛生設備工事
(1) 給水設備工事
本工事は図示のごとく工事範囲とし、直圧式により所要の各所に給水する。直圧部の弁類は、水道局規格品JIS 10K を使用する。
(2) 屋外排水設備工事
本工事は、汚水、雑排水を合流方式とし、敷地内最終樹に至る配管、樹を勾配に十分留意し敷設するものとする。
樹は公団型、現場打ちまたはプラスチック樹とする。
(3) 屋内排水通気設備工事
本工事は汚水、雑排水を分流式により屋外樹に接続放流する。
(4) 衛生器具設備工事
衛生器具を所定の位置に附属金具により堅固に取り付けるとし、陶器の色は監督員と協議の上決定する。
(5) 給湯設備工事
電気温水器、ガス給湯器による局所給湯方式とし、図示の各所に給湯する。
(6) LPガス設備工事
LPG集合装置により図示の各所に配管供給する。
ホースコックは、過流出防止機構（ヒューズ）付きとする。

空調設備工事

(1) 機器設備工事
本工事は、空冷ヒートポンプ式パッケージエアコンにより冷暖房をおこなうものとする。
各機器の据付・試運転調整を含めて機器設備工事とする。
空調設備工事に於ける外気、室内の温湿度条件

	乾球温度℃	湿球温度℃	相対湿度%
外気条件	夏期	34.5	27.3
	冬期	1.7	-1.3
室内条件	夏期	26	-
	冬期	22	-

(2) 配管設備工事
各機器間のドレン、冷媒配管をおこなうものとし、配管の振動及び共振に十分留意の上施工する。
(3) 換気設備工事
換気扇の設置ならびに付帯ダクト設備を行うものとする。

8 総合調整

(1) 風量調整
□適用する ■適用しない
(2) 水量調整
■適用する □適用しない
(3) 室内外空気温度測定
■適用する □適用しない
(4) 室内外空気湿度測定
□適用する ■適用しない
(5) 室内気流及びびじんあいの測定
□適用する ■適用しない
(6) 騒音の測定
□適用する ■適用しない
(7) 飲料水の水质の測定(水道法施行規則第10条による水质検査)
□適用する ■適用しない
のうち 一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物(全有機炭素(TOC)の量)、pH値、味、臭気、色度、濁度について測定を行うこと。
※遊離残留塩素 については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行うこと。
(8) その他（ ）
□適用する □適用しない

9 工事細目

(1) 配管材料
部分的に配管種類を変更する場合は、図面内に明記すること。
■ 給水管
■ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116
(一般：SGP-VB 地中：SGP-VD)
□ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011
(一般：SGP-FVA FVB 地中：SGP-FVD)
※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。
※ 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合(工場加工)とする。
■ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742
(一般・地中：HIVP)
□ 水道配水用ポリエチレン管 JWNA K 144 (地中：PE)
□ 水道用ステンレス鋼鋼管JWNA G 115 (最高使用圧力1.0MPa以下)
□ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448 (最高使用圧力2.0MPa以下)

※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。
■ 雑排水管
□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白)
※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用
(地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き)
■ 土間・一般： 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU)
□ 土間： リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP)
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。
□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
■ 通気管
□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白)
※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用
(地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き)
■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU)
□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP)
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可
□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
■ 汚水管
□ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042
※ 同上MD継ぎ手 JPF MDJ 002
■ 土間・一般： 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU)
□ 土間： リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP)
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。
□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
■ 給湯管
■ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K 140 (SGP-HVA)
□ 水道用ステンレス鋼鋼管JWNA G 115
□ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 JIS G 3448

■ ガス管
■ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白)
□ 土間： 塩化ビニル被覆鋼管(黒)
□ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 (地中：PE)
※ 地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。
□ ガス事業者の供給規定に準じる。
□ 消火管
□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白)
□ 消火用硬質塩化ビニル外周被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS)
※ 地中埋設管VS は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。
■ 屋外埋設排水
■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU)
□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP)
□ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (REP-VU)
□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 JIS K 9797 (RS-VU)
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。
□ コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品) (1類水路用速心力鉄筋コンクリート管)
□ 冷温水配管
□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白)
□ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K 140 (一般：SGP-HVA)
□ 冷却水管
□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白)
□ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116 (一般：SGP-VA, VB)
□ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般：SGP-FVA, FVB)
■ ドレン管
□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白)
■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) (屋外 カラーVP)
□ 保温層付硬質ポリ塩化ビニル管
□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP)
※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VPは屋外露出不可。
□ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又は JIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
■ 冷媒管
□ 銅及び銅合金組立無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300
■ 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品
ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mmとする。

※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係例示基準の規定による。
□ 油管
□ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 溶接接合
□ 蒸気管
□ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452
□ ブライン管
□ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452

※ 弁類 揚水ポンプ（二次側）、消火ポンプ（二次側）、水道直圧部は 10Kとし、それ以外は 5Kとする。
塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コ付き、又はライニング弁を使用すること。

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下	—	2m 以下
	125A以上	—	3m 以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下	—	1m 以下
	100A以上	—	2m 以下

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A～100 A	125A～
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A～40A	50A～100A	125A～

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト □ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
□ ステンレス鋼板 JIS G4305
工法 □ アングルフランジ工法
□ 共板フランジ工法
□ スライドオンフランジ工法
形鋼補強 □ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
丸ダクト ■ スパイラルダクト
■ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
- グラスウール保温材 保温板、保温筒、保温帯 JIS A 9504 40K (屋内一般等)
- 給水管 ■ 排水管 ■ 給湯管 □ 消火管 (露出部)
- 蒸気管 (往) □ 蒸気管 (還) □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管
- (屋外等)
- 給湯管 (70℃以上) □ 温水管 □ 蒸気管 □ 冷水・冷温水管
- 冷媒管 □ □ □
- ロックウール保温材 保温板 JIS A 9504 1号又は2号 (防火区画貫通部等) 保温帯、ブランケット JIS A 9504 1号
- 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 温水管
- 蒸気管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷媒管 □ 消火管
- ポリスチレンフォーム保温材 保温板、保温筒 JIS A 9511 3号 (屋内一般等)
- 給水管 □ 排水管 □ 冷水・冷温水管 □ 冷水管 (2～4℃)
- ブライン管 □ □ □
- (屋外等)
- 給水管 □ 排水管 □ 給湯管 □ 冷水・冷温水管
- ブライン管 □ 消火管 □ □ □
- 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 (露出)
- 給水管 □ 排水管 □ 通気管 □ ドレン管
- ガス管 □ 消火管 □ 油管 □ 冷却水管
- ダクト (亜鉛鉄板製) □ ダクト (鋼板製) □ □
- さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種 (露出)
- 蒸気管 (往) □ ダクト (鋼板製) □ □ □
- アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント) 下塗りは錆止めペイント
- 蒸気管 (還) □ □ □ □

2) 保温厚

- ・ グラスウール、ロックウール
- | | | | | | |
|--------------|------|----------|--------|---------|-------|
| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 |
| 給水・排水・ドレン・給湯 | ～80A | 100～150A | - | 200A～ | - |
| 膨張・温水・消火管 | ～25A | - | 32～50A | 65A～ | - |
| 蒸気管 | ～25A | - | 32～50A | 65A～ | - |
| 冷水・冷温水・冷媒管 | - | - | ～25A | 32～200A | 250A～ |
- ・ ポリスチレンフォーム
- | | | | | | | |
|----------------|------|-------|------|----------|--------|-------|
| 保温厚 (mm) | 20 | 25 | 30 | 40 | 50 | 65 |
| 給水・消火・排水管 | ～80A | 100A～ | - | - | - | - |
| 冷水・冷温水管 | - | - | ～25A | 32～200A | 250A～ | - |
| 冷水管 (冷水温度2～4℃) | - | - | ～20A | 25A～100A | 125A～ | - |
| ブライン管 | - | - | - | ～25A | 32～80A | 100A～ |
- ・ 機器ダクト保温厚
- | | |
|------|--|
| 保温厚 | |
| 25mm | ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ
膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール) |
| 50mm | ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類
冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー
排気筒隠蔽部 (ロックウール) |
| 75mm | 煙道 (ロックウール) |

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様				
	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&3d'5&2D&2仕上
天井内・P S内	7&3d'5&2D&2保温筒	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	青色7&3d'5&2D&2
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上
※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。				
※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。				
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。				

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	アルミガラスクロス仕上	
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	青色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
■ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ					カラー亜鉛鉄板 (屋内)
温水・膨張・還水貯湯タンク	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッダ熱交換器				カラー亜鉛鉄板 (屋内)	

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板	
		機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S内		紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所		紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板	
		機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多湿箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多湿箇所		保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線
サブライチャンパー			紙	保温板	ガラスクロス	銅電甲金網
消音チャンパー、エルボ			紙	保温板	ガラスクロス	
排煙ダクト長方形		屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
排煙ダクト 円形		屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
煙道		ブランケット	鉄線	カラー鉄板		

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWA S02による防錆処理を施した平ラス0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅電甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. S A □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
2. E A □ 保温あり ■ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
3. R A □ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
4. O A ■ 保温あり □ 保温なし □ 図面による □ その他 ()
- チャンパー内貼施工 □ 内貼あり (mm) □ 内貼なし □ 図面による □ その他 ()

(4) スリーブ工事

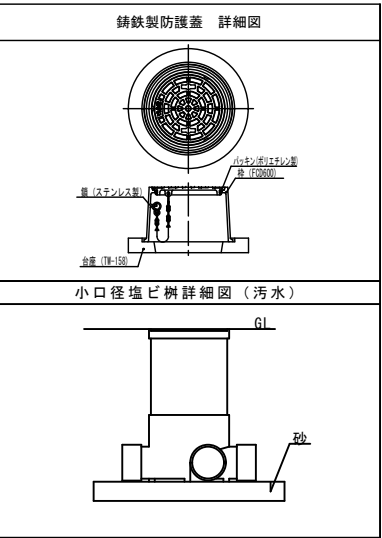
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚を含む) より40mm程度大 (≒2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けるガラリのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
・ 呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには裏カバー及び点検口を設けること。

特 記 事 項		<div><div><div><div><div><div></div></div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div></div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div></div>	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第307846号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図 	工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
								検図 	図面名称 機械設備工事 特記仕様書（2）	縮 尺 A2:N.S A3:N.S	図面番号 M002 原図：A2

衛生器具表																				
名 称	仕 様 ・ 参 考 型 番					管理棟					スタンド棟									
	L I X I L		T O T O		消 費 電 力 (参 考)	男子 トイレ	女子 トイレ	多目的 トイレ	休憩 室	屋 外	事務室 (多目的室)	多目的室1 (会議室)	多目的室2 (会議室)	更衣室1	更衣室2	シャワー室1	シャワー室2	屋 外	合 計	
洋風便器	BC-P110SM, DQ-PA150CH, CW-PA21LQE-NE-R1, 他一式		CF-63HST(紙巻器)		CFS498BC, TCF5534AU, 他一式	YH702(紙巻器)		310W	1	2									3	
洋風便器	BC-P110SM, DQ-PA150CH, CW-PC12LQE-NECK-STG, 他一式		CF-63HST(紙巻器)		CFS498BC, TCF5841AUPR, 他一式	YH702(紙巻器)		1300W			1								1	
小便器	U-A51AP, 他一式				UFS900R, 他一式			8.0W	2										2	
洗面器(自動水栓)	L-275AN, AM-311CV1(自動水栓), LF-105PA, SF-10E, KF-30DN, 他一式				L270C, TLE28SS1A(自動水栓), TLDP2105JA, TL220D, 他一式			0.6W			1								1	
洗面器(手動水栓)	L-176UAN, LF-1-U(手動水栓), LF-105PA, SF-10E, KF-30DN, 他一式				L250C, TLS11R(手動水栓), TLDP2105JA, TL250D, 他一式									1	1				2	
カウンター式洗面器	L-2260, AM-300V1(自動水栓), LF-WN7PCFL, LF-625K, KF-24ELM, 他一式				L530, TLE28SA1A(自動水栓), TLDP2201JA, TL516GR, TLK05202J, 他一式			0.6W	2	2									4	
同上カウンター	MB-600SS(1,900)、MBF-620A【建築工事】				ML60(奥行600)(W=1,900)、M9P50A【建築工事】	(1)													(1)	
同上カウンター	MB-600SS(1,900)、MBF-620A【建築工事】				ML60(奥行600)(W=1,900)、M9P50A【建築工事】	(1)													(1)	
壁付手洗器(自動水栓)	AWL-71U2AM(S), 他一式				LSA90ABS, 他一式			0.6W			1								1	
掃除流し	S-17, LF-7KRZ-13-U, SF-25PA, SF-10E, KF-30DN, 他一式				SK500, T200BSQ13C, T6PMR, TL220D, 他一式				1	1									2	
オストメイトパック	PTOM-B210W/SSW(電気温水器), 他一式				UAS81RDB1NW(電気温水器), 他一式			700W			1								1	
L型手すり	KF-926AE70D12J, 他一式				T112CL10, 他一式				1	2									3	
L型手すり	KF-926AE80D25J, 他一式				T112CL11, 他一式						1								1	
跳ね上げ手すり	KF-471EH70JU, 他一式				T112HK7R, 他一式						1								1	
小便器用手すり	KF-701AEJ, 他一式				T112CU22, 他一式				1										1	
背もたれ	KFC-275T1U, 他一式				EW C283CR, 他一式						1								1	
化粧鏡	KF-W450H1000A, 他一式				YM4510FA, 他一式						1								1	
化粧鏡	KF-4560A, 他一式				YM4560F, 他一式				2	2					1	1			6	
ベビーチェア(コーナータイプ)	AC-BK-F62, AC-BC-F31, 他一式				YKA16S, 他一式				1	2									3	
ベビーチェア	AC-BK-F62, 他一式				YKA15S, 他一式						1								1	
ベビーシート	AC-OK-21F, 他一式				YKA25N, 他一式						1								1	
フィッティングボード	AC-CB-14, 他一式				YKA41R, 他一式						1								1	
シャワー水栓	BF-KA247TSG, 他一式				TBV03418J1, 他一式												2	2	4	
混合水栓	SF-H420SYXA, 他一式				TKS05301J, 他一式						1		1						3	
横水栓	LF-7R-13-U, 他一式				T200SNR13C, 他一式				1	1	1							1	5	
水栓柱	アルミ製(H=1,200)										1								1	
ミニキッチン	【建築工事】 ※配管接続は【本工事】										(1)		(1)	(1)					(3)	



ガス給湯器仕様表

記 号	機 器 名	機 器 仕 様	参考消費電力	台数	設 置 場 所
WHG-1	ガス給湯器	屋外壁掛形 32号 潜熱回収型 (高効率タイプ)	75 W	2	スタンド棟 1階 シャワー室1系統
		参考ガス消費量 : 58.7kW (LPG) 重塩害仕様	(1φ100V)		スタンド棟 1階 シャワー室2系統
		付属品 : リモコン、リモコンケーブル、配管カバー			

電気温水器仕様表

記 号	機 器 名	機 器 仕 様	参考消費電力	台数	設 置 場 所
WHE-1	電気温水器	床置形 12L 飲料用	1.1 kW	1	管理棟 1階 休憩室
		付属品 : 耐震用固定金具、排水ホッパー、止水栓	(1φ100V)		
		SUSフレキ管セット、他一式			

製氷機仕様表

記 号	機 器 名	機 器 仕 様	参考消費電力	台数	設 置 場 所
IB-1	製氷機	貯水量 約18.0kg	195 W	1	管理棟 1階 休憩室
			(1φ100V)		

中継ポンプ槽仕様表

記 号	機 器 名	機 器 仕 様	台数	備 考
DP-1	中継槽付 ポンプユニット	φ40×50L/min×7.0m×0.25kW (1φ100V)	2	簡易土留工事、コンクリート工事、水張工事等も本工事に含む。
		FRP製中継槽(1,100φ×H1,435)有効800L以上		コンクリート底版の配筋は、メーカー仕様に準ずる。
		交互並列運転、着脱タイプ、歩行者荷重仕様		
		付属品 : 屋外用制御盤 フロートスイッチ		
		かさ上げスペース		

空調機器表									
記号	機器名称	形式・仕様		定格電圧	消費電力	台数	備考、付属品		
					冷房／暖房				
					(kW)				
PAC-1	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン (同時ツイン形)	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	6.23/5.47	1	場所：管理棟 1階 エントランスホール		
		定格冷房能力	20.0	kW			標準パネル、ワイヤードリモコン、分岐管		
		定格暖房能力	22.4	kW			防振ゴム、風向ガイド		
		電動機出力	5.05	kW			コンクリート基礎【建築工事】		
PAC-2	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	2.58/2.40	1	場所：管理棟 1階 事務室		
		定格冷房能力	10.0	kW			標準パネル、ワイヤードリモコン		
		定格暖房能力	11.2	kW			防振ゴム、風向ガイド		
		電動機出力	2.00	kW			コンクリート基礎【建築工事】		
PAC-3	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット2方向吹出形	3φ-200V	1.01/1.02	1	場所：管理棟 1階 休憩室		
		定格冷房能力	4.0	kW			標準パネル、ワイヤードリモコン		
		定格暖房能力	4.5	kW			防振ゴム、風向ガイド		
		電動機出力	0.65	kW			コンクリート基礎【建築工事】		
PAC-4	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン (同時ツイン形)	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	6.23/5.47	3	場所：管理棟 2階 大会議室×2		
		定格冷房能力	20.0	kW			：管理棟 2階 小会議室		
		定格暖房能力	22.4	kW			標準パネル、ワイヤレスリモコン、受光部		
		電動機出力	5.05	kW			分岐管、防振ゴム、風向ガイド		
							コンクリート基礎【建築工事】		
PAC-5	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	2.58/2.40	1	場所：写真判定棟 2階 写真判定室・記録室		
		定格冷房能力	10.0	kW			標準パネル、ワイヤードリモコン		
		定格暖房能力	11.2	kW			防振ゴム、風向ガイド		
		電動機出力	2.00	kW			コンクリート基礎【建築工事】		
PAC-6	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン (同時ツイン形)	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	6.23/5.47	1	場所：スタンド棟 1階 事務室（多目的室）		
		定格冷房能力	20.0	kW			標準パネル、ワイヤードリモコン		
		定格暖房能力	22.4	kW			分岐管、防振ゴム、風向ガイド		
		電動機出力	5.05	kW			コンクリート基礎【建築工事】		

空調機器表									
記号	機器名称	形式・仕様		定格電圧	消費電力	台数	備考、付属品		
					冷房／暖房				
					(kW)				
PAC-7	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天吊形	3φ-200V	4.32/3.67	1	場所：スタンド棟 1階 多目的室1（会議室）		
		定格冷房能力	12.5	kW			ワイヤードリモコン、ドレンアップ		
		定格暖房能力	14.0	kW			防振ゴム、風向ガイド		
		電動機出力	2.95	kW			コンクリート基礎【建築工事】		
PAC-8	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天吊形	3φ-200V	4.32/3.67	1	場所：スタンド棟 1階 多目的室2（会議室）		
		定格冷房能力	12.5	kW			ワイヤードリモコン、ドレンアップ		
		定格暖房能力	14.0	kW			防振ゴム、風向ガイド		
		電動機出力	2.95	kW			コンクリート基礎【建築工事】		
PAC-9	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	3.91/3.29	1	場所：スタンド棟 1階 更衣室1		
		定格冷房能力	12.5	kW			標準パネル、ワイヤードリモコン		
		定格暖房能力	14.0	kW			防振ゴム、風向ガイド		
		電動機出力	2.95	kW			コンクリート基礎【建築工事】		
PAC-10	空冷ヒートポンプ式パッケージエアコン	形式	天井カセット4方向吹出形	3φ-200V	3.91/3.29	1	場所：スタンド棟 1階 更衣室2		
		定格冷房能力	12.5	kW			標準パネル、ワイヤードリモコン		
		定格暖房能力	14.0	kW			防振ゴム、風向ガイド		
		電動機出力	2.95	kW			コンクリート基礎【建築工事】		
R-1	集中管理リモコン	運転・停止、温度設定、	状態監視、異常表示等	1φ-100V		1	場所：管理棟 1階 事務所		
		モニター付					取込機器：PAC-1～4		
特 記		1.能力条件は全てJIS B8616条件とする。 2.機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。 但し該当しない機器については製造者標準仕様とする。 3.機器入力は、圧縮機電動機出力、送風機電動機出力及び制御用電源の合計値を示す。 4.機器類の能力は同等以上とする。 5.電動機出力、消費電力は、参考値とする。 6.グリーン購入法適合品とする。（該当する場合のみ） 7.屋外機の据付はSUS製ボルトとし、ダブルナットにて締め付けること。 8.屋内機の吊ボルト下部はダブルナットにて固定すること。 9.屋外機は耐重塩害仕様とすること。							

冷媒管保温要領

液管

連絡配線

ガス管

外装材(SUS製鋼板)

ポリスチレンフォーム保温筒

屋外露出

特 記 事 項		<div><div><div>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号</div><div><div><div>株式会社</div><div>前野建築設計</div></div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div></div>	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
			一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第360917号 前田 祐作			海浜公園内陸上競技場改修工事		
									縮 尺 A2:N.S A3:N.S	図面番号	
									空調機器表	M005 原図：A2	



換気機器表	
1	換気扇
2	換気機
3	換気機
4	換気機
5	換気機
6	換気機
7	換気機
8	換気機
9	換気機
10	換気機
11	換気機
12	換気機
13	換気機
14	換気機
15	換気機
16	換気機
17	換気機
18	換気機
19	換気機
20	換気機
21	換気機
22	換気機
23	換気機
24	換気機
25	換気機
26	換気機
27	換気機
28	換気機
29	換気機
30	換気機
31	換気機
32	換気機
33	換気機
34	換気機
35	換気機
36	換気機
37	換気機
38	換気機
39	換気機
40	換気機
41	換気機
42	換気機
43	換気機
44	換気機
45	換気機
46	換気機
47	換気機
48	換気機
49	換気機
50	換気機
51	換気機
52	換気機
53	換気機
54	換気機
55	換気機
56	換気機
57	換気機
58	換気機
59	換気機
60	換気機
61	換気機
62	換気機
63	換気機
64	換気機
65	換気機
66	換気機
67	換気機
68	換気機
69	換気機
70	換気機
71	換気機
72	換気機
73	換気機
74	換気機
75	換気機
76	換気機
77	換気機
78	換気機
79	換気機
80	換気機
81	換気機
82	換気機
83	換気機
84	換気機
85	換気機
86	換気機
87	換気機
88	換気機
89	換気機
90	換気機
91	換気機
92	換気機
93	換気機
94	換気機
95	換気機
96	換気機
97	換気機
98	換気機
99	換気機
100	換気機

記 号	機 器 名 称	仕 様	定格電圧	消費電力 (W)	台 数	設 置 場 所	備 考
VF-1	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	64.5	1	①管理棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×400CMH×80Pa【100CMH×40Pa】		【22.0】		1階 エントランスホール	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給)					
		天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-2	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	64.5	1	①管理棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×350CMH×80Pa【50CMH×40Pa】		【22.0】		1階 事務室	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給)					
		天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-3	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形					ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 100φ×150CMH×70Pa【50CMH×40Pa】	1φ100V	22.5	1	①管理棟	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給)		【9.0】		1階 休憩室	
		天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-4	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	23.0	1	①管理棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 100φ×150CMH×60Pa				1階 書庫	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-5	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	82.0	1	①管理棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×450CMH×100Pa				1階 男子トイレ	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-6	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	82.0	1	①管理棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×450CMH×100Pa				1階 女子トイレ	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-7	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	29.5	1	①管理棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×200CMH×50Pa				1階 多目的トイレ	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-8	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	64.5	2	①管理棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×400CMH×80Pa				2階 大会議室×2台	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-9	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	48.0	1	①管理棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×300CMH×80Pa【50CMH×40Pa】		【15.5】		2階 小会議室	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給)					
		天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-10	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	22.5	1	⑤写真判定棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 100φ×150CMH×70Pa【50CMH×40Pa】		【9.0】		2階 写真判定室・記録室	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給)					
		天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-11	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形					ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×250CMH×35Pa	1φ100V	49.0	1	⑦スタンド棟	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式				1階 男子トイレ	
VF-12	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	49.0	1	⑦スタンド棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×250CMH×35Pa				1階 女子トイレ	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-13	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	29.5	1	⑦スタンド棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×200CMH×45Pa				1階 シャワー室1	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-14	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	29.5	1	⑦スタンド棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×200CMH×45Pa				1階 シャワー室2	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-15	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	82.0	1	⑦スタンド棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×400CMH×140Pa				1階 更衣室1	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-16	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	82.0	1	⑦スタンド棟	ルバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×400CMH×140Pa				1階 更衣室2	材質 : 不銹鉄(金属)フッ(フッ素付)
		付属品 : 天吊金具、SUS製深形フード、他一式					

記 号	機 器 名 称	仕 様	定格電圧	消費電力 (W)	台 数	設 置 場 所	備 考
VF-17	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	28.5	1	⑦スタンド棟	ルーバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×200CMH×70Pa【50CMH×40Pa】		【11.5】	1階 事務室 (多目的室)	材質 : ポディ(金属)フッ(プラスチック)	
		付属品 : 24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給)					
		天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-18	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	40.0	1	⑦スタンド棟	ルーバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×250CMH×80Pa【50CMH×40Pa】		【13.0】	1階 多目的室1 (会議室)	材質 : ポディ(金属)フッ(プラスチック)	
		付属品 : 24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給)					
		天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
VF-19	天井埋込形換気扇	型 式 : 低騒音形	1φ100V	40.0	1	⑦スタンド棟	ルーバー : 格子タイプ
		能 力 : 150φ×250CMH×80Pa【50CMH×40Pa】		【13.0】	1階 多目的室1 (会議室)	材質 : ポディ(金属)フッ(プラスチック)	
		付属品 : 24時間換気切替スイッチ(電気設備へ支給)					
		天吊金具、SUS製深形フード、他一式					
V-(A)	天井扇 (キッチン付属品)	付属品 : SUS製深形フード、他一式			1	①管理棟	
						1階 休憩室	
OA-1	給気グリル	型 式 : フィルター付			7	管理棟	
		能 力 : 200φ				1階 エントランスホール	
		付属品 : SUS製深形フード (防虫網付) 200φ×1				1階 事務室、休憩室	
		他一式				2階 大会議室×2台	
						2階 小会議室	
						写真判定棟	
						2階 写真判定室・記録室	
OA-2	給気グリル	型 式 : フィルター付			4	スタンド棟	
		能 力 : 200φ				1階 事務室 (多目的室)	
		付属品 : SUS製深形フード (防虫網付) 100φ×2				1階 医療スペース	
		他一式				1階 多目的室1・2	


特 記

1. 機器類の能力は同等以上とする。	3. フードは全て指定色塗装とする。
2. 消費電力、静圧は参考値とする。	4. 【 】内の数値は24時間換気用の数値とする。
3. 排気用フードはガラリ付とする。	

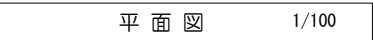
特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図  工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日
			一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士			縮 尺		図面番号 A2:N.S A3:N.S M006 原図：A2
			第320204号	第307846号	第378328号	第360917号			図面名称		
			前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早紀	前田 祐作			換気機器表		

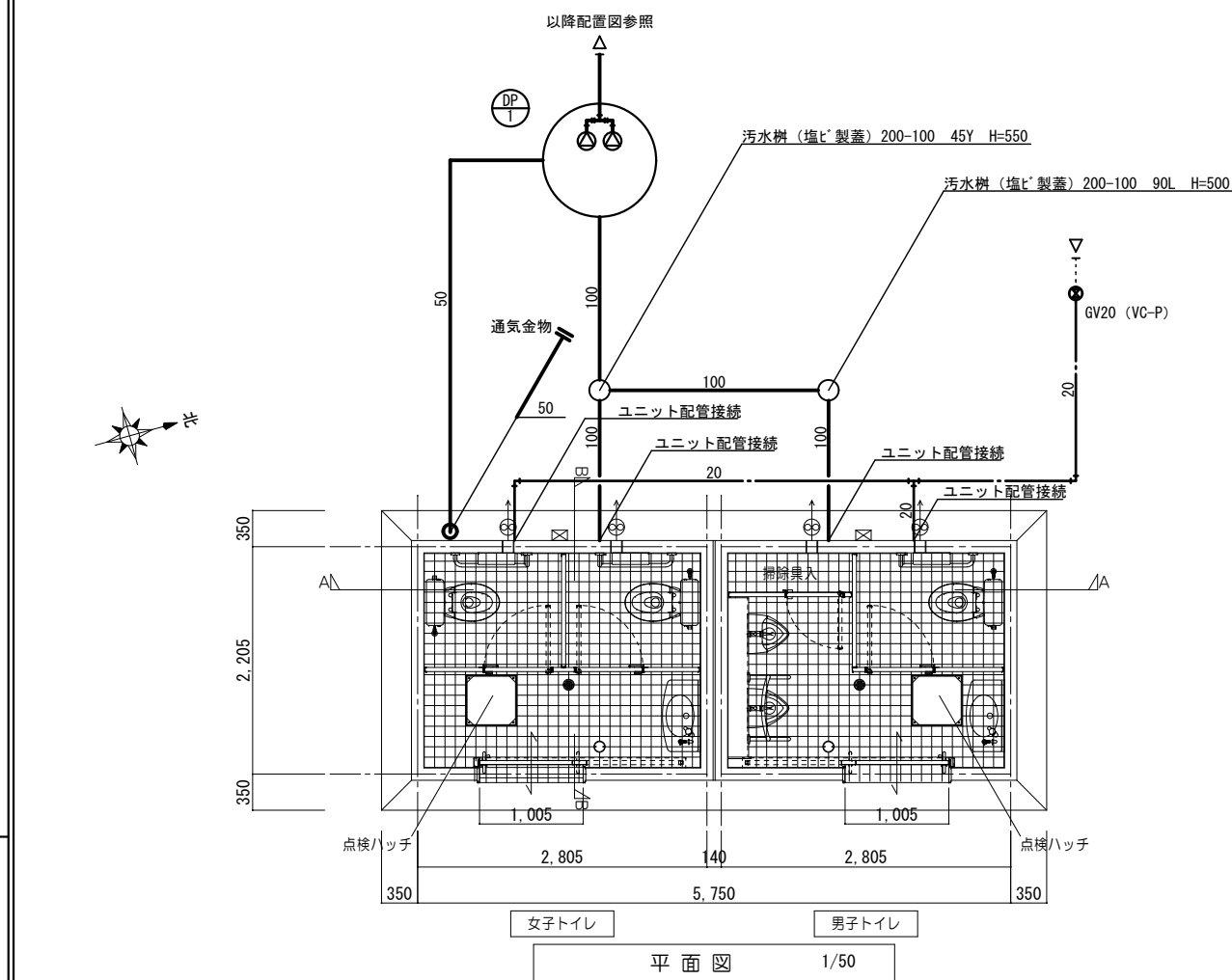
各室換氣計算

[illegible]

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
			一級建築士 第320204号	一級建築士 第307846号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第360917号			作図	海浜公園内陸上競技場改修工事		
			前野 将輝	三橋 五百子	加藤 早紀	前田 祐作			検図	図面名称	縮 尺	図面番号
									三橋 五百子	換気計算書	A2:N.S A3:N.S	M007 原図：A2

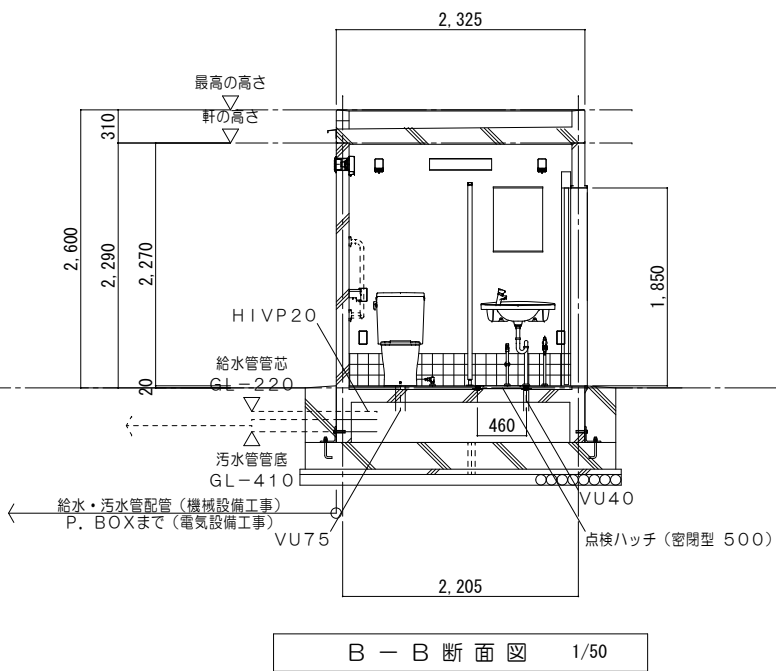
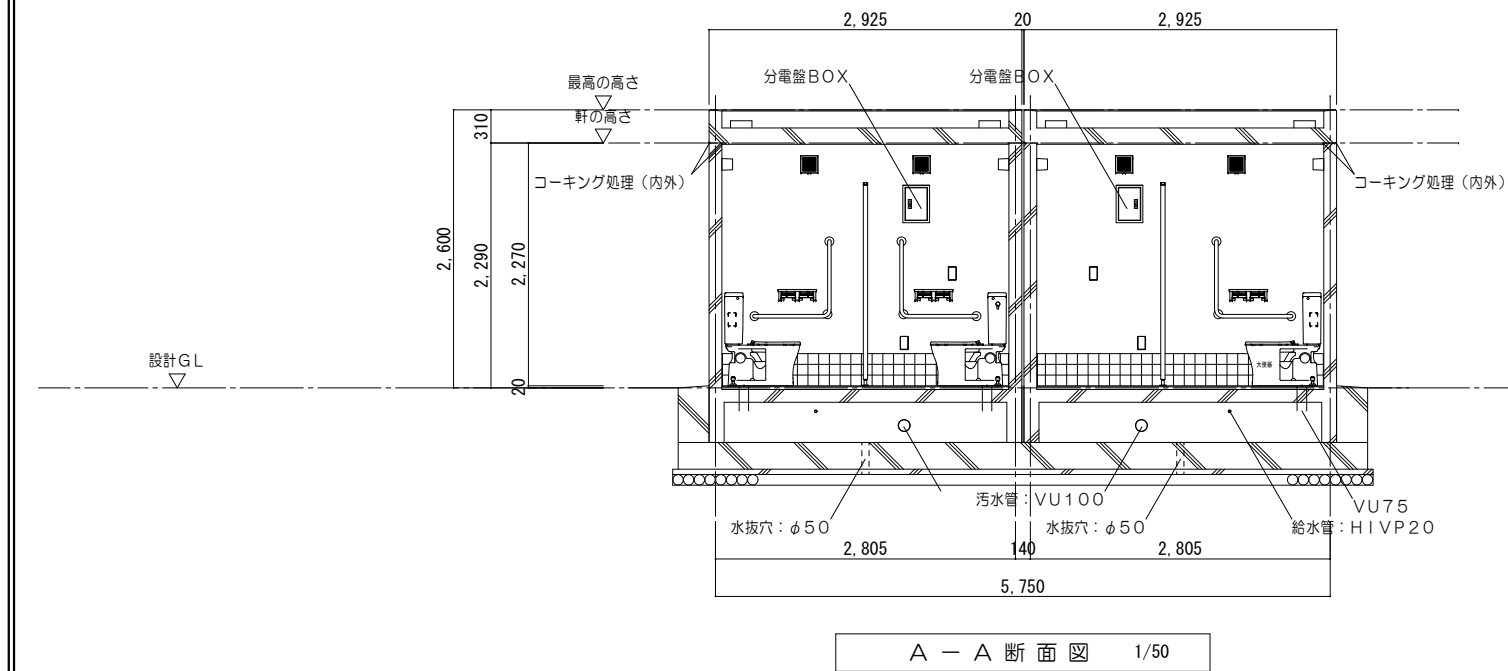
	設計日
縮尺 A2: 1/100 A3: 1/141	図面番号 M008 原図: A2

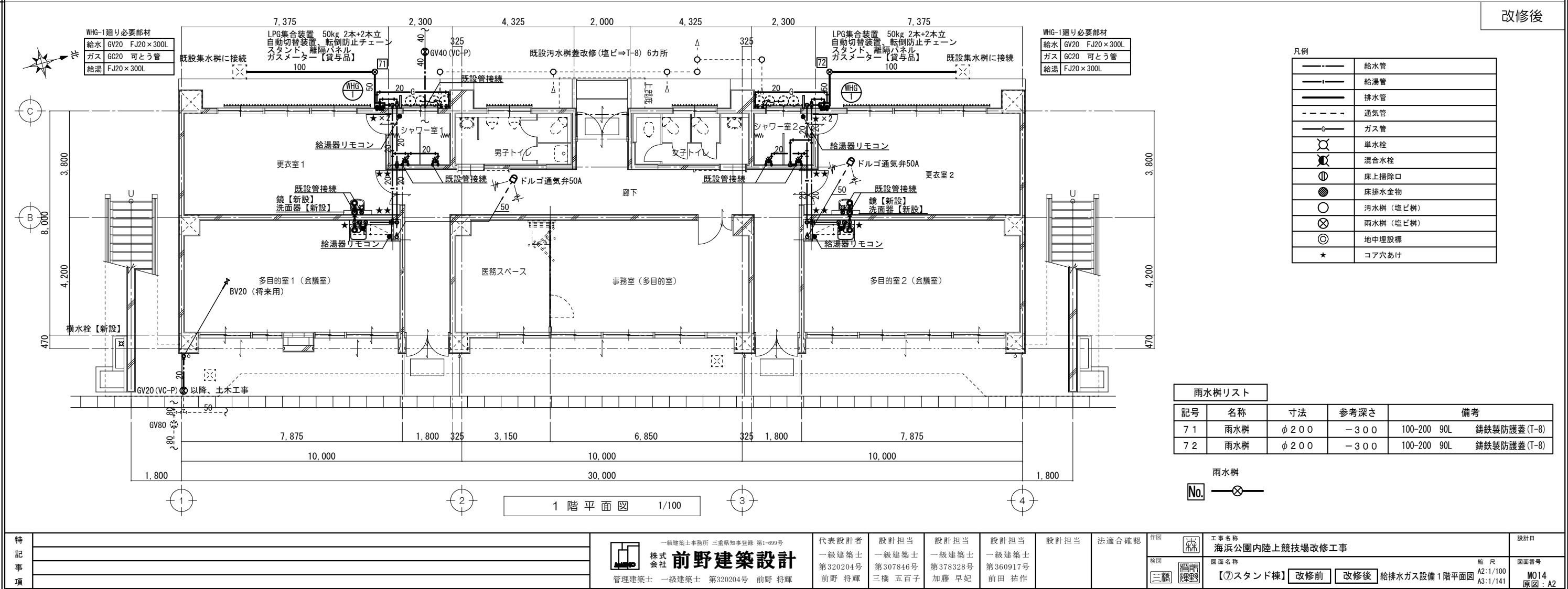
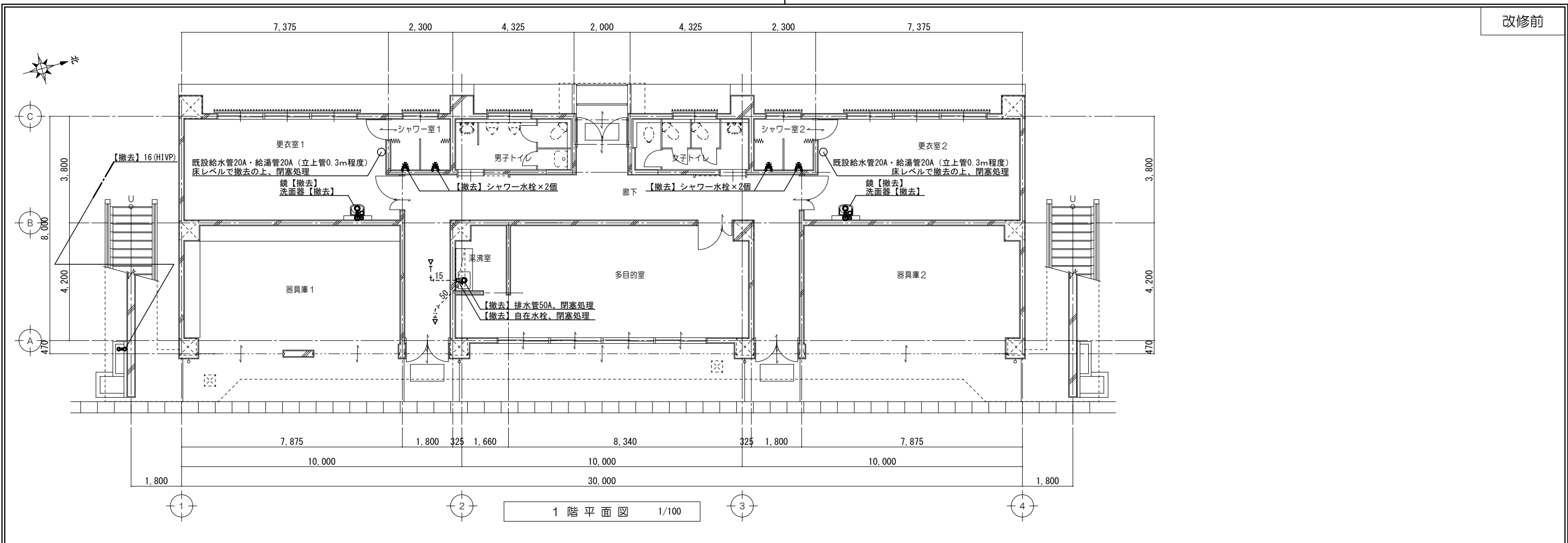




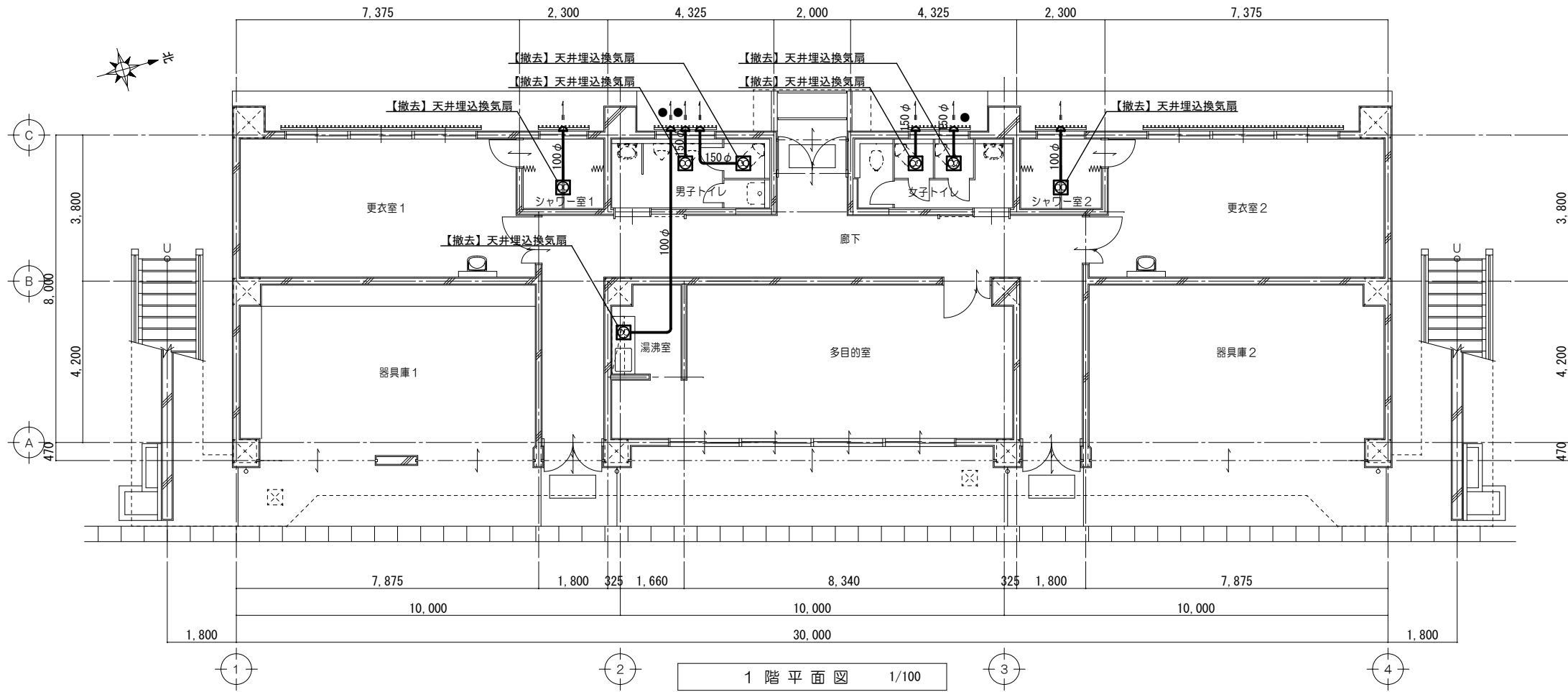
※臭突管の立上りは、ｶﾌﾞｰPを仕様すること。

凡例	
	給水管
	給湯管
	排水管
	通気管
	ガス管
	単水栓
	混合水栓
	床上掃除口
	床排水金物
	汚水樹 (塩ビ樹)
	雨水樹 (塩ビ樹)
	地中埋設標
	コア穴あけ



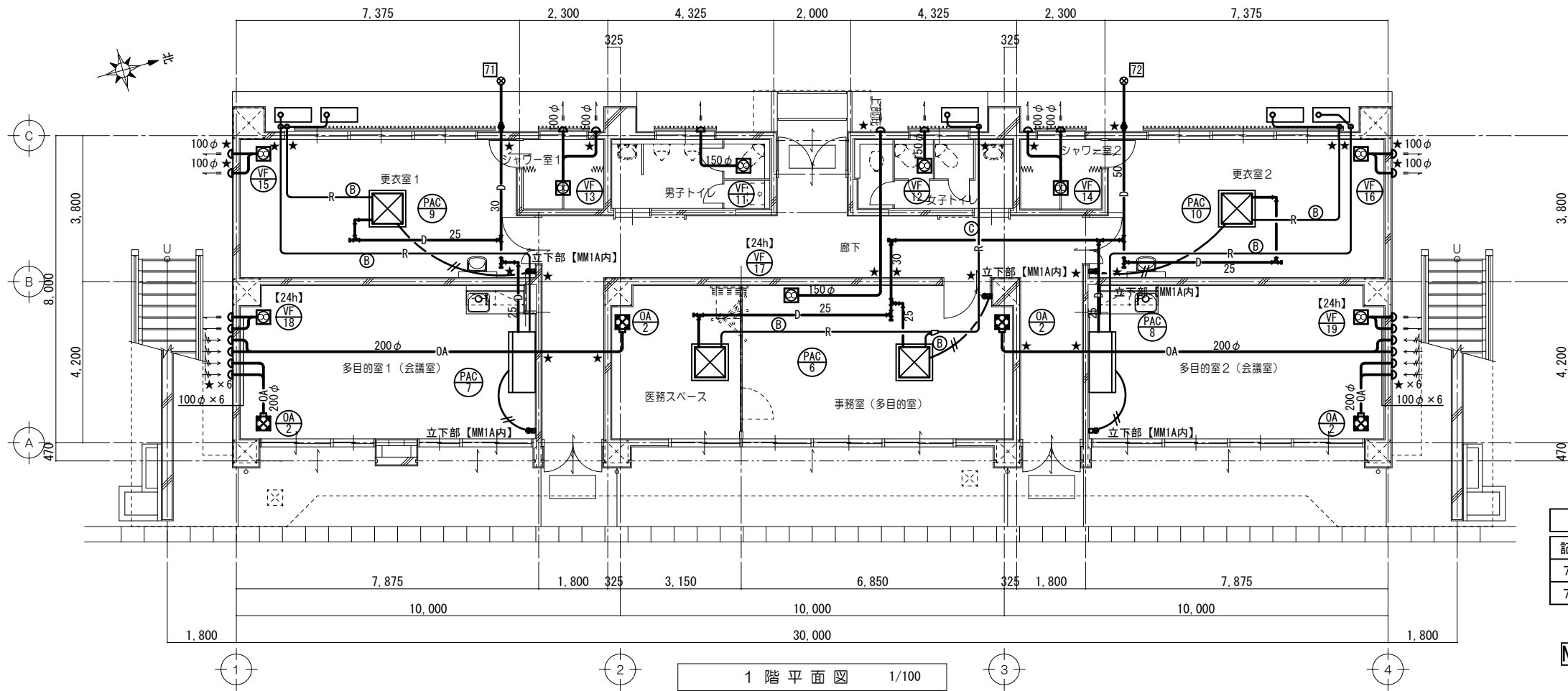


改修前



	【撤去】既設ダクト
	モルタル穴埋め（建築工事）

改修後



記号	液管 / ガス管	室内外連絡配線
Ⓐ	φ6.35 / φ12.7	EM-EEF2.0-30
Ⓑ	φ9.52 / φ15.88	EM-EEF2.0-30
Ⓒ	φ9.52 / φ25.4	EM-EEF2.0-30

図示記号	
	冷媒管
	ドレン管
	個別リモコン線（EM-CEES1.25mm2-2C）
	個別リモコン（機器付属品）
	OAダクト
	Eダクト
	排水管
	コア穴あけ

※シャワー室のダクトは、塩ビダクトを使用すること。

記号	名称	寸法	参考深さ	備考
71	雨水樹	φ200	-300	100-200 90L 鋳鉄製防護蓋(T-8)
72	雨水樹	φ200	-300	100-200 90L 鋳鉄製防護蓋(T-8)

雨水樹
No.

特 記 事 項	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号					代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当	法適合確認	作図		工事名称 海浜公園内陸上競技場改修工事	設計日		
	<div><div>株式会社 前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>											図面		縮 尺	図面番号		
												<div><div>三橋 五百子</div></div>		図面名称		A2:1/100	M016
														【⑦スタンド棟】 <div>改修前</div> <div>改修後</div> 空調換気設備 1階平面図		A3:1/141	原図: A2